



<p>③ 散水養生 場内から土ほご等の発生を抑えるために散水等を行う。排水先等も事前に検討し、周辺環境の保持に努める。</p> <p>④ 仮設排水 既存の排水桝、排水管を撤去する場合は、仮設の排水設備を設け、排水上支障のないようにすること。</p> <p>5 工事用水 構内既存の施設 ・利用できる ( ※ 有償 ・ 無償 ) ・利用できない</p> <p>6 工事用電力 構内既存の施設 ・利用できる ( ※ 有償 ・ 無償 ) ・利用できない</p> <p>7 監督員事務所 (2.3.1) ※ 設ける(規模、仕様は次による) ・設けない 規模 ※ 20 程度 ・ 40m程度 ・ 90m程度 ・ 150m程度 監督員事務所は施工者から独立した専用スペースとし、流し台を設置すること。また打合せ用会議スペースを設ける。原則として上層とす。 工事用看板の設置 (設計、監理事務所の指定様式による) 備品 ※ 机、椅子、ロッカー、書類棚、打合せ机、専用電話、コピー複合機、ノートパソコン、インターネット環境、ファックス ※ 冷暖房設備、行事用白板、冷蔵庫、コピー用紙、文具類一式 ※ 長靴、安全靴、雨合羽、作業服、防寒服、ヘルメット、安全帯、軍手 等 注記: [ ]内は社章と社名入りとし必要数揃えること。 ・ C A Dシステム一式 (最新版ウインドウズ等OS及びAutoCAD-LTソフト共) 3セット分。 ・ 公共建築工事標準仕様書 (建築工事編) 最新版・建築工事監理指針の最新版 ・ 建築工事施工チェックシート (最新版) ・ 公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編) 最新版 ・ 電気設備工事監理指針 最新版 ・ 公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) 最新版 ・ 機械設備工事監理指針 最新版</p>	<p>⑦ 解体後の整地 解体後の埋戻し及び盛土 (3.13.1) ・ 行う 範囲 ※ 図示 整地高さ ・ 現状地盤 ◎ 図示 埋戻し及び盛土の材料 ・ 山砂の類 ◎ 他現場の建設発生土の中の良質土 ・ 再生コンクリート砂 埋戻し及び盛土に当たっては、各層30cm程度毎に締め固めること。 表層仕上 ・ 砕石敷き 範囲 ※ 図示 ・ なし ・ 行わない</p> <p>⑧ 振動および騒音対策 ◎ 騒音対策 (静音タイプの重機の使用、騒音発生部分の重点遮音対策を行う) ◎ 振動対策 (低振動タイプの重機の使用等の配慮を行う) 撤去建築物の養生 ( ※ 行う ) 塵埃飛散対策 ( ※ 行う ) 騒音・振動測定 ( ※ 行う ) ◎ 工事期間中は、防音シート設置等、必要な振動対策および騒音対策を十分講じること。また、近隣住民の要請等についても、誠意をもって対処し、必要な対策を講じること。</p> <p>⑨ 建設発生土の処理</p> <p>10 事前調査 ・ 有害物質の事前調査 有害物質処理を行う場合は、工事着手前に処理対象物の存在場所、量を特定するための調査を行い、その結果を監督職員に報告する。 ・ 土壌汚染、水質汚染の事前調査 ・ 行う 土壌汚染対策法及びその他の関連法令に従い調査を行う ・ 行わない</p>	<p>① 適用 下記以外は第1章「一般共通事項」の記載による。</p> <p>② 再資源化等 ○ 再生資源化を図るもの (4.4.1) ○ ガラス ○ 小型二次電池 ○ 蛍光灯ランプ、H Dランプ ○ 硬質塩化ビニル管、継ぎ手 ○ コンクリート塊 ○ アスファルトコンクリート塊 ○ 建設発生木材</p>	<p>6 石綿 アスベスト含有建材の除去及び処理</p>	<p>① アスベスト(石綿)含有建材の事前調査 (1.4.1)(6.1.1~6.6.5) 1. 「アスベスト含有建材」とは、アスベスト含有の吹付材、成形板、建築材料等をいう。 2. アスベスト含有建材の事前調査 (1) ※ 工事着手前に先立ち、設計図面等、本工事に関わる設計図書にアスベスト含有建材の存在が示されている場合は、該当部位について、次の1~4の内容を調査し監督職員に報告する。 1. アスベスト含有建材が使用されている部位の確認 2. アスベスト含有建材の厚さ、形状寸法等の確認 3. アスベスト含有建材が使用されている数量の確認 4. 施工範囲等の確認 アスベスト含有建材の存在は次による ※ 図示 ・ 下表による</p> <table border="1"> <tr> <th>棟名</th> <th>室名</th> <th>部位</th> <th>アスベスト含有建材の種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) ※ 工事着手前に先立ち、目視及び貸与する既存資料等により、アスベストを含有していると思われる建材の存在の有無について調査し、上記1~4の事項を監督職員に報告する。 調査範囲 ( ※ 今回工事範囲 ) 図示 貸与資料 ・ 有り ( ) ○ 無し</p> <p>(3) ※ アスベスト含有建材の内、アスベスト含有アスファルト防水関連材料については次による。 1. 対象となる防水関連材料 特殊アスファルトフェルト類：1986年以前に製造されたもの 特殊アスファルトルーフィング類：1987年以前に製造されたもの アスファルト系接着剤類：2003年以前に製造されたもの 2. 本工事範囲における対象となる防水関連材料の有無 ・ 有り(図示) ・ 不明 3. 対象となる防水関連材料の有無が「不明」の場合は次の手順で調査を行う。 (a)建設当時(当該部分の改修工事が行われた時点を含む)の工事記録を基に、使用された材料を特定し、材料製造所にてアスベスト含有の有無を判定する (b)上記(ア)で判定できない場合はサンプルを採取し、分析調査を行う(サンプリング数は監督職員と協議のこと)。 4. 対象となる建材が「有り」場合、または分析調査で有ることが判明した場合は次による。 (a)「有り」の場合は、本章および改修標準仕様書 第9章の記載により処理を行う (b) 含有分析試験の結果、含有が確認されたものについては、本章および改修標準仕様書 第9章の記載により処理を行う。なお、処理に要した費用(分析調査費を除く)及び工事工期については、設計変更の対象とする。 (4) ※ 下記の建材(アスベスト含有アスファルト防水関連材料を除く)については次による。 1. 本項において対象となる建材 ※ アスベスト含有の可能性があるが、設計時点で分析調査による含有が確認できなかったもの(下記2(1)の表に記載のもの)。 ※ 既存資料でアスベスト含有建材の存在が確認できなかったもの。 2. 対象となる建材はサンプル採取の上有り分析調査を行う(サンプリング数の記載がない場合は監督職員と協議のこと)。含有が確認されたものについては本章および改修標準仕様書 第9章の記載により処理を行う。なお、処理に要した費用(分析調査費を除く)及び工事工期については、設計変更の対象とする。 (1.4.1)</p> <p>(1) 分析調査の適用 ※ 前項(3)(4)記載のもの及び下表記載のものについて分析調査を行う ・ 分析調査は行わない(ただし前項(3)(4)記載のものを除く)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">建材名</th> <th colspan="2">定性分析</th> <th rowspan="2">定量分析</th> </tr> <tr> <th>図面による</th> <th>○ 箇所数(図面による)</th> <th>○ 箇所数(図面による)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数( )</td> <td>・ 箇所数( )</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数( )</td> <td>・ 箇所数( )</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数( )</td> <td>・ 箇所数( )</td> <td></td> </tr> </table> <p>サンプル数は、1箇所あたり3個とする 採取箇所 ※ 監督職員と協議する 図示 分析対象はアモサイト、クリソタイル、クロソライト、アクチノライト、アンソフライト、トリモライトとする。</p> <p>(2) 分析方法は次によるものとし、分析結果を監督職員に報告する。 ※ 「建材中の石綿含有率の分析方法について」(平成18年8月21日 基発第0821002号、平成28年4月13日基発0413第3号、最終改正令和3年12月22日基発1222第17号)による。</p> <p>アスベスト粉じん濃度測定 (6.1.3) ※ 下記1,2および3の記載により行う ・ 行わない</p>	棟名	室名	部位	アスベスト含有建材の種類					建材名	定性分析		定量分析	図面による	○ 箇所数(図面による)	○ 箇所数(図面による)		・ 箇所数( )	・ 箇所数( )			・ 箇所数( )	・ 箇所数( )			・ 箇所数( )	・ 箇所数( )		<p>④ アスベスト含有吹付材の除去及び処分 (6.3.2) a. 処理方法 ※ 除去工法 除去工法は本章および改修標準仕様書 第9章[9.1.3]による工法、または(財)日本建築センターの建設技術審査証明事業の審査を受けた工法とし、審査証明の写しを提出し、監督職員への承諾を得ること。 ・ 封じ込め処理 封じ込め工法は(財)日本建築センターの建設技術審査証明事業の審査を受けた工法とし、審査証明の写しを提出し、監督職員への承諾を得ること。 ・ 囲い込み処理 ( ) b. 除去したアスベスト含有吹付け材等の飛散防止 ※ 密封処理 ※ 湿潤化 ・ セメント固化 c. 除去物及び汚染物等の処理 ※ 密封処理 ・ セメント固化 d. 工事中の保管場所 ※ 構内 e. 処分 ※ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設)</p> <p>⑤ アスベスト含有保温材等の除去及び処分 (6.4.1) [9.1.4] a. 除去工法 ※ 手ばらし ・ (6.4.1) [9.1.4] b. 除去物及び汚染物等の処理 ※ 密封処理 ・ セメント固化 d. 工事中の保管場所 ※ 構内 e. 処分 ※ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設)</p> <p>⑥ アスベスト含有成形板の除去及び処分 (6.5.1) [9.1.5] a. 除去工法 ※ 手ばらし ・ (6.5.1) [9.1.5] b. 工事中の保管場所 ※ 構内 c. 処分 ※ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設)</p> <p>⑦ アスベスト含有塗膜の除去 (6.6.1~5) 既存塗膜(仕上塗材または下地調整材)にアスベストが含まれている場合は、管轄官庁の指導に従い、法令の規定に基づいた適正な工法で処理する。除去工法は(財)日本建築センターの建設技術審査証明事業の審査を受けた工法とし、審査証明の写しを提出し、監督職員への承諾を得ること。</p> <p>⑧ 手続き等 労働基準監督署及び〇〇市〇〇課に必要な書類の届出を行い、指導を受ける。</p> <p>9 除去後の仕上 ※ 図示</p>	<p>7 その他 特記事項</p> <p>① 工事範囲 ※ 設計図書については詳細を示すものではないので、工事着手前に現場調査を行い、状況を充分把握すること。 ※ 施工調査により、特別管理産業廃棄物及びアスベスト含有建材が発生した場合は、監督員と別途協議を行い、適正処理を行うこと。その場合は、5章特別管理産業廃棄物等の処理等及び6章アスベスト含有建材の除去等を適用する。 但し、施工調査費は請負金額に含まれるものとする。 ※ 設計図書に明記の無い建物・地中埋設物等が確認された場合は、監督員と協議の上、処理方法を決定する。ただし、明らかに解体撤去対象物と判断できるものは除却する。 ※ 解体建築物(残存物を除く)及び工作物等は、地盤面下基礎部分を含め撤去すること。 ※ 医療機器、備品の撤去は別途工事とする。その他工事区分は下表による。</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="5">区分</th> </tr> <tr> <th>建築</th> <th>電気</th> <th>機械</th> <th>別途</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>仮囲い・足場・桟橋等の架け、維持、補修</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>監理員事務所等の架け、維持、補修</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事用電話・電力・上水・下水・ガス等の使用料金 (本設 (受電・電話・上水・下水・ガス等) から 建物引渡し時までの基本料金及び使用料金を含む)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の仮設建物及び機械器具等</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事現場保安要員、交通整理員</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地中障害物撤去</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table> <p>② 残存建物との取合い ※ 残存建物の病院運営に支障のない仮設計画を行うこと。 ※ 残存建物との取合い部分には、屋外・屋内共に適正な仮設設置仕切りを設けること。 ※ 壁の使用は残存建物に合わせ、防災性等を考慮し決定すること。 ※ 上下水、電気、通信、防災等の各設備の切替え・停止は残存建物の法規上の規定を守り施工すること。その他本工事施工以外の各部に汚損を生じた場合は原型に復すること。</p> <p>③ 残存建物 ※ 外壁のアスベスト含有仕上塗材について、工事着手前に試験施工を行ったのち、監督員及び所轄する労働基準監督署と協議の上、除却工法を検討すること。</p> <p>④ 暴力団員等による不当介入の排除 守山市の発注する建設工事等における暴力団員等による不当介入の排除について (「不当介入に関する通報制度」の徹底について) (1) 請負者(請負人または受注者)は、暴力団員等(暴力団の構成員および暴力団関係者、その他県発注・工事等に対して不当介入をしようとするすべての者)による不当介入(不当な要求または業務の妨害)を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査に必要な協力を行うものとする。 (2) 請負者は、前項により通報を行った場合には、速やかにその内容を記載した通報書(別記様式第1号)により所轄警察署に届け出るとともに、監督職員に報告するものとする。また、請負者は、以上のことについて、下請負人に対して十分に指導を行うものとする。 (3) 請負者は、暴力団員等による不当介入を受けたことが明らかになり、工程等に被害が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。</p> <p>⑤ 市内下請・市内材料調達促進 ※ 参考解体業者 守山市の発注に関し、下請施工を必要とする場合、また施工に必要な各種の資材等の購入については、可能な限り市内に本社・本店を有する者の中から選定する。 1. 丸翔建設株式会社 2. 株式会社DAINA 3. 福昇建設株式会社 と同等以上の技能を有すること。</p>	項目	区分					建築	電気	機械	別途	備考	仮囲い・足場・桟橋等の架け、維持、補修	○					監理員事務所等の架け、維持、補修	○	○	○			工事用電話・電力・上水・下水・ガス等の使用料金 (本設 (受電・電話・上水・下水・ガス等) から 建物引渡し時までの基本料金及び使用料金を含む)	○	○	○			その他の仮設建物及び機械器具等	○	○	○			工事現場保安要員、交通整理員	○	○	○			地中障害物撤去				○	
棟名	室名	部位	アスベスト含有建材の種類																																																																													
建材名	定性分析		定量分析																																																																													
	図面による	○ 箇所数(図面による)		○ 箇所数(図面による)																																																																												
	・ 箇所数( )	・ 箇所数( )																																																																														
	・ 箇所数( )	・ 箇所数( )																																																																														
	・ 箇所数( )	・ 箇所数( )																																																																														
項目	区分																																																																															
	建築	電気	機械	別途	備考																																																																											
仮囲い・足場・桟橋等の架け、維持、補修	○																																																																															
監理員事務所等の架け、維持、補修	○	○	○																																																																													
工事用電話・電力・上水・下水・ガス等の使用料金 (本設 (受電・電話・上水・下水・ガス等) から 建物引渡し時までの基本料金及び使用料金を含む)	○	○	○																																																																													
その他の仮設建物及び機械器具等	○	○	○																																																																													
工事現場保安要員、交通整理員	○	○	○																																																																													
地中障害物撤去				○																																																																												
<p>株式会社 内藤建築事務所</p> <p>東京都左京区田中大塚町182 一級建築士 神先 誠司 (職第111131号) 一級建築士事務所 京都府知事登録(31A)第22291号</p>					<p>一級建築士 登録第244140号 二級建築士 登録第7089号 失口 正宏 【建築関係規定に抵触する部分の除却を含む】</p>	<p>工事名 市民病院エレベータ棟改修および別館解体工事 期名 建築解体工事特記仕様書(2) 期尺 A1: - A3: - 設計日 K A - 0 0 2</p>																																																																										

施工条件特記仕様書		適用項目	明示が必要な場合	明示事項	内容		明示項目	適用項目	明示が必要な場合	明示事項	内容														
<p>下記項目のうち適用項目○印該当欄は、当該工事に関する施工条件として明示するものである。 なお、明示事項に変更が生じた場合は、監督職員に報告し、協議するものとする。</p>							2	仮道路		仮道路を設置する場合	仮設道路の仕様 安全施設等の設置期間 工事終了後の措置														
① 工程関係	1	○	他の工事の開始又は完了の時期により、当該工事の施工時期、全体工期等に影響がある場合	影響を受ける部分	車両動線。	⑥ 仮設備関係	①	○	仮設備（仮土留、仮橋、足場等）	仮設備を他の工事に引き渡す場合及び引き継いで使用する場合	仮設備の内容	建設物解体工事特記仕様書、図示による。													
				影響を受ける工事内容							仮設備の期間														
				関連する工事内容	隣接地の工事（詳細は監督員による）						仮設備の条件														
				関連する工事の開始又は完了の時期							仮設備の種類														
	2	○	施工時期、施工時間及び施工方法が制限される場合	制限される施工内容	工事の時間。	⑦ 建設副産物関係	①	○	建設発生土の搬出	建設発生土が発生する場合	仮設備の構造、工法及びその施工範囲を指定する場合	仮設備の設計条件を指定する場合	仮設備の種類	建設物解体工事特記仕様書による。											
				制限される施工時期・施工時間	8時～17時まで。						仮設備の構造、施工方法、施工範囲	図示による。													
				制限される施工方法							設計条件の内容														
	3	○	当該工事の関係機関等との協議に未成立のものがある場合	制約を受ける内容	施工方法。	②	2	建設副産物の利用	現場内での再利用又は減量化が必要な場合	現場内利用の内容	現場内利用の内容	現場内利用の内容	減量化の内容	建設物解体工事特記仕様書による。											
				協議内容	特別高圧線下の施工方法。						減量化の内容														
				協議成立見込時期	工事前に行う。						建設副産物及び建設廃棄物の処理	建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合	処理方法、処理場所等の処理条件	建設物解体工事特記仕様書による。											
4	○	関係機関、自治体等との協議の結果、特定の条件が付され当該工事の工程に影響がある場合	影響を受ける部分		③	○	建設副産物及び建設廃棄物の処理	再資源化処理施設又は最終処分場を指定する場合	処理方法、処理場所等の処理条件	建設物解体工事特記仕様書による。	建設物解体工事特記仕様書による。	建設物解体工事特記仕様書による。	建設物解体工事特記仕様書による。	建設物解体工事特記仕様書による。	建設物解体工事特記仕様書による。										
			影響を受ける内容							建設物解体工事特記仕様書による。	建設物解体工事特記仕様書による。	建設物解体工事特記仕様書による。	建設物解体工事特記仕様書による。	建設物解体工事特記仕様書による。											
2 用地関係	1	○	工事の規模（範囲）及び工期について指定した部分がある場合	調査項目	工事着手前に地下埋設物及び埋蔵文化財等の事前調査を必要とする場合	⑧ 工事支障物件等	1	○	工事支障物件協議	地上、地下等における占用物件の有無及び占用物件等で工事支障物が存在する場合	調査期間	地上、地下等における占用物件に係る工事期間と重複して施工する場合	工事内容 工事期間	支障物件名	管理者名	支障物件の位置									
				地下埋設物等の移設が予定されている場合	移設期間						支障物件名、管理者名等			支障物件の移設時期	工事方法	防護									
				地下埋設物等の移設が予定されている場合	移設期間																				
③ 公害関係	1	○	公害防止（騒音、振動、粉塵、排出ガス等防止）	休日日数以外の作業不能日数		⑨ 排水関係	1	○	排水処理	排水の工法、排水処理の方法及び排水の放流先等を指定する場合	排水工法、排水処理の方法等	排水工法	排水処理の方法	放流先											
				指定部分								排水工法	排水処理の方法	放流先											
	2	○	騒音、振動、地盤沈下、地下水枯渇等の防止調査	当該工事の規模（範囲）	図示による。		2	○	水替・流入防止施設	水替・流入防止施設が必要な場合	施設の内容 設置期間	排水工法	排水処理の方法	放流先											
				当該工事の工期	建築物解体工事特記仕様書による。							排水工法	排水処理の方法	放流先											
	3	○	関係機関、自治体等との協議の結果、特定の条件が付され当該工事の工程に影響がある場合	制約を受ける内容	施工方法。		3	○	薬液注入	薬液注入を行う場合	設計条件、施工工法等	排水工法	排水処理の方法	放流先											
				協議内容	特別高圧線下の施工方法。							排水工法	排水処理の方法	放流先											
4	○	関係機関、自治体等との協議の結果、特定の条件が付され当該工事の工程に影響がある場合	協議成立見込時期	工事前に行う。	4	○	薬液注入	薬液注入を行う場合	設計条件、施工工法等	排水工法	排水処理の方法	放流先													
			協議成立見込時期	工事前に行う。						排水工法	排水処理の方法	放流先													
④ 安全対策関係	1	○	交通安全施設等	調査項目	工事着手前に地下埋設物及び埋蔵文化財等の事前調査を必要とする場合	⑩ 薬液注入関係	1	○	薬液注入	薬液注入を行う場合	調査期間	周辺環境に与える影響の調査が必要な場合	周辺環境調査の内容	設計条件	施工工法	材料種類									
				地下埋設物等の移設が予定されている場合	移設期間						設計条件			施工工法	材料種類										
				地下埋設物等の移設が予定されている場合	移設期間						設計条件			施工工法	材料種類										
				地下埋設物等の移設が予定されている場合	移設期間						設計条件			施工工法	材料種類										
	2	○	近接施工	制約を受ける内容	特別高圧線下の施工方法。	2	○	水替・流入防止施設	水替・流入防止施設が必要な場合	施設の内容 設置期間	排水工法	排水処理の方法	放流先												
				協議内容	特別高圧線下の施工方法。						排水工法	排水処理の方法	放流先												
	3	○	落石、雪前、土砂崩落の防護施設	未然に防止するための必要な調査方法		3	○	薬液注入	薬液注入を行う場合	設計条件、施工工法等	排水工法	排水処理の方法	放流先												
				未然に防止するための必要な調査範囲							排水工法	排水処理の方法	放流先												
	4	○	交通誘導員の配置	未然に防止するための必要な調査方法		4	○	薬液注入	薬液注入を行う場合	設計条件、施工工法等	排水工法	排水処理の方法	放流先												
				未然に防止するための必要な調査範囲							排水工法	排水処理の方法	放流先												
5	○	有毒ガス及び酸素欠乏等の対策	延べ人数	交通誘導員 A 100人・日程度	5	○	薬液注入	薬液注入を行う場合	設計条件、施工工法等	排水工法	排水処理の方法	放流先													
			配置時間	交通誘導員 A 8時～17時まで（8時間）						排水工法	排水処理の方法	放流先													
6	○	工事中における職員等の安全に対する配慮事項	換気設備等の内容		6	○	薬液注入	薬液注入を行う場合	設計条件、施工工法等	排水工法	排水処理の方法	放流先													
			換気設備等の内容							排水工法	排水処理の方法	放流先													
⑤ 工事用 道路関係	1	○	一般道の使用	仮設設置中における配慮	工事中確保すべき通路幅	⑪ その他	1	○	工事現場発生品	工事現場発生品がある場合	仮設設置中における配慮	工事中確保すべき通路幅	⑫ その他	1	○	支給品及び貸与品	支給材料及び貸与品がある場合	品名・数量・品質 規格又は性能 引渡場所・引渡期間	品名・数量、現場内での再使用の有無 引渡場所	品名・数量・品質 規格又は性能 引渡場所・引渡期間	品名・数量、現場内での再使用の有無 引渡場所				
				搬入経路、使用時間、使用時間帯等に制限がある場合	解体された資材の搬出は、指定した経路以外の経路を通行してはならない。						仮設設置中における配慮	工事中確保すべき通路幅										仮設設置中における配慮	工事中確保すべき通路幅	仮設設置中における配慮	工事中確保すべき通路幅
				制限される使用期間	日曜・祭日の工事作業車の運行は行わないものとする。						仮設設置中における配慮	工事中確保すべき通路幅										仮設設置中における配慮	工事中確保すべき通路幅	仮設設置中における配慮	工事中確保すべき通路幅
				制限される使用時間帯	夜間の運行は行わない。						仮設設置中における配慮	工事中確保すべき通路幅										仮設設置中における配慮	工事中確保すべき通路幅	仮設設置中における配慮	工事中確保すべき通路幅
2	○	搬入、搬出路の使用及び使用後の処置が必要である場合	使用中・使用後の処置内容	使用後は清掃を行うこと。	7	○	薬液注入	薬液注入を行う場合	設計条件、施工工法等	仮設設置中における配慮	工事中確保すべき通路幅	⑫ その他	1	○	部分使用	部分使用を行う必要がある場合	部分使用箇所 部分使用時期	部分使用箇所 部分使用時期	部分使用箇所 部分使用時期	部分使用箇所 部分使用時期					
			使用中・使用後の処置内容	使用後は清掃を行うこと。						仮設設置中における配慮	工事中確保すべき通路幅										仮設設置中における配慮	工事中確保すべき通路幅	仮設設置中における配慮	工事中確保すべき通路幅	
3	○	関係機関、自治体等との協議の結果、特定の条件が付され当該工事の工程に影響がある場合	協議成立見込時期	工事前に行う。	8	○	薬液注入	薬液注入を行う場合	設計条件、施工工法等	仮設設置中における配慮	工事中確保すべき通路幅	⑫ その他	1	○	アスベスト（レベル1）の搬去	アスベスト（レベル1）の使用がある場合	搬去の周知、時期、工法、届出	管轄の労働基準監督署へ協議を行い、適切な搬去工法等を立案し、監督員の承認を得ること。 アスベストの搬去に先立ち、管轄の労働基準監督署へ所定の手続きを行うこと。	管轄の労働基準監督署へ協議を行い、適切な搬去工法等を立案し、監督員の承認を得ること。 アスベストの搬去に先立ち、管轄の労働基準監督署へ所定の手続きを行うこと。	管轄の労働基準監督署へ協議を行い、適切な搬去工法等を立案し、監督員の承認を得ること。 アスベストの搬去に先立ち、管轄の労働基準監督署へ所定の手続きを行うこと。					
			協議成立見込時期	工事前に行う。						仮設設置中における配慮	工事中確保すべき通路幅										仮設設置中における配慮	工事中確保すべき通路幅	仮設設置中における配慮	工事中確保すべき通路幅	

外部仕上表
既設外部仕上げ
屋上-1 (4階)
FRP露出防水
パラペット
立上り:防水伸工レンガ積 モルタルコテの上FRP露出防水
瓦木:防水モルタルコテの上FRP露出防水
屋上-2 (2階)
アスファルト防水+シンダーコンクリートの上、FRP露出防水 (\*改修工事の為既存仕上の上FRP防水)
パラペット
立上り:防水伸工レンガ積 モルタルコテ
瓦木:防水モルタルコテ
屋上-3 (PH室)
アスファルト防水+シンダーコンクリートの上、FRP露出防水 (\*改修工事の為既存仕上の上FRP防水)
パラペット
立上り:防水伸工レンガ積 モルタルコテ
瓦木:防水モルタルコテ
外壁
防水形機層塗材E-1
仮張り:モルタルコテ H=450
バルコニー
防水モルタルコテ 手すり:パイプ OP
バルコニー仮装
コンクリート打直し リシン吹付付 (外装薄塗材E)
モ、粘子
アルミサッシ (現品品組合せ)
防水種
目録
ルーバー 11.6X5.0X2.4 編組スバンドレル SOP

アスベスト含有建材数量表 (参考数量)

Table with 4 columns: レベル, 部位, 面積, 備考
レベル1: 床 0 m2, 壁 0 m2, 天井 25.6 m2 (天井内), 外壁 0 m2
レベル3: 屋上防水 1,178 m2, 床 2,716 m2, 壁 470 m2 (ボード), 壁 107 m2 (クロス), 壁 408 m2 (吹付), 天井 948 m2, 外壁 44.5 m2 (吹付)

分析調査数量表 (アスベスト)

Table with 3 columns: 部位, 数量, 検体
屋上防水 1 検体
床 1 検体
壁 2 検体
天井 3 検体
外壁 1 検体
軒裏 0 検体
ダクト・パッキン 1 検体

分析調査数量表 (PCB含有シーリング)

Table with 3 columns: 部位, 数量, 検体
建具 1 検体
外壁 1 検体

\*PCBが検出された際の対応は、監督員と協議すること

\*アスベストの撤去工法は監督員及び所管行政庁と協議の上、確定すること

Table with multiple columns for construction details, including materials like 断熱材 (外壁), 外装, and 梁型. It contains detailed descriptions of various construction elements and their specifications.

Table with columns: 記号, 仕様, 仕上凡例, 材料, and 備考. It lists various construction materials and finishes with their corresponding codes and specifications.

□ : アスベスト含有建材を示す。

\*屋上アスファルトルーフィングは、アスベスト含有建材 (レベル3) とみなす。

株式会社 内藤建築事務所

東京都左京区田中大塚町182
一般建築士 神先 誠司 (建築士登録番号 第01131号)
一般建築士事務所 京都府知事登録 (31A) 第02291号

(一般建築士 登録第24414号)
(構造設計一般建築士 第7089号)
矢口 正宏
(一般建築士 登録第301974号)
(設備設計一般建築士 第5999号)
山本 篤史
(設備設計一般建築士 第5999号)

工事名 市民病院エレベータ棟改修および別館解体工事
図名 別館 仕上表 (1)
縮尺 A1: -
A3: -
設計日

図番 KA-004

内部仕上表																
階	部門	室名	床高 (F.L)	天井高	床		巾木		床・壁		天井		廻り縁	フラインドボックス (木製 SOP)	備考	
					下地	仕上	仕上	高さ	下地	仕上	下地	仕上				
1	障害者支援センター	風除室	±0	2,600	MO	100角タイル貼り	壁に同じ		MO LGS	吹付タイル (RE) PB715+15両面二重貼りの上	LGS	化粧PB79.5	玄関	塩ビ製		
		サロン	±0	2,600	MO	VS ア2.5貼り	ソフト巾木	100	LGS	PB715+15両面二重貼りの上無機質クロス貼り	LGS	化粧PB79.5	サロン	塩ビ製		
		ホール	±0	2,600	MO	VS ア2.5貼り	ソフト巾木	100	LGS	PB715+15両面二重貼りの上無機質クロス貼り	LGS	化粧PB79.5	ホール	塩ビ製		
		日常生活訓練室	±0	2,600	MO	面貼りフロアリングA15 (クッション材付)	ソフト巾木	100	MO LGS	AEP塗り PB715+15両面二重貼りの上	LGS	化粧PB79.5	日常生活訓練室	塩ビ製	○	アコーディオンカーテン
		社会適応訓練室	±0	2,500	MO	面貼りフロアリングA15 (クッション材付)	ソフト巾木	100	MO LGS	AEP塗り 洗し前 高耐擦100角タイル PB715+15両面二重貼りの上	LGS	化粧PB79.5	社会適応訓練室	塩ビ製	○	システムキッチン
		作業室1,2	±0	2,500	MO	1:モルタル金コシ神工の上防湿シート 2:VS ア2.5貼り	ソフト巾木	100	MO LGS	AEP塗り PB715+15両面二重貼りの上	LGS	化粧PB79.5	作業室1,2	塩ビ製		
		脱衣室 (浴室)、前室	±0	2,500	MO	VS ア2.5貼り	ソフト巾木	100	LGS	PB715+15両面二重貼りの上KK-1 ア5	LGS	KK-2 ア6 VP塗り	脱衣室 (浴室)、前室	塩ビ製		洗濯機パン
		機械浴室	±0	2,500	MO	50角タイル貼り	壁に同じ		MO	100角タイル貼り	LGS	浴室用硬質成型板	機械浴室	アルミ製		浴槽、スノコ、グレーチング
		オムツ交換室 汚物処理室	-30	2,500	MO	50角タイル貼り	床材立上	100	LGS	PB715+15両面二重貼りの上KK-1 ア5	LGS	KK-2 ア6 VP塗り	オムツ交換室 汚物処理室	塩ビ製		
		男子便所、女子便所	-30	2,500	MO	50角タイル貼り	床材立上	100	LGS	PB715+15両面二重貼りの上KK-1 ア5	LGS	KK-2 ア6 VP塗り	男子便所、女子便所	塩ビ製		手摺
		多目的便所	-30	2,500	MO	50角タイル貼り	床材立上	100	LGS	PB715+15両面二重貼りの上KK-1 ア5	LGS	KK-2 ア6 VP塗り	多目的便所	塩ビ製		手摺
		指導員室	±0	2,500	MO	VS ア2.5貼り	ソフト巾木	100	MO LGS	AEP塗り PB715+15両面二重貼りの上	LGS	化粧PB79.5	指導員室	塩ビ製	○	
		相談室兼静養室	±0	2,500	MO	VS ア2.5貼り	ソフト巾木	100	MO LGS	AEP塗り PB715+15両面二重貼りの上	LGS	化粧PB79.5	相談室兼静養室	塩ビ製		
		ナイト宿直室	+150	2,500	W	タタミ敷き	タタミ寄せ			MO LGS	AEP塗り PB715+15両面二重貼りの上	LGS	化粧PB79.5 (木目)	ナイト宿直室	塩ビ製	
	更衣室	+150	2,500	W	タタミ敷き	タタミ寄せ			LGS	PB715+15両面二重貼りの上無機質クロス貼り	LGS	化粧PB79.5 (木目)	更衣室	塩ビ製		押入
	前室	±0	2,500	MO	VS ア2.5貼り	ソフト巾木	100	LGS	PB715+15両面二重貼りの上無機質クロス貼り	LGS	化粧PB79.5	前室	塩ビ製		UB141B (TOTO:JRV1418K)	
	放課後デイサービス	風除室	±0	2,600	MO	100角タイル貼り	壁に同じ		MO	PB715+15両面二重貼りの上無機質クロス貼り	LGS	化粧PB79.5	風除室	塩ビ製		
		前室	±0	2,600	MO	VS ア2.5貼り	ソフト巾木	100	MO LGS	PB715+15両面二重貼りの上無機質クロス貼り	LGS	化粧PB79.5	前室	塩ビ製	○	
		デイルーム1	±0	2,500	MO	VS ア2.5貼り	壁に同じ		MO	壁:タタミン不燃化粧板H800 壁:PBT15+15両面二重貼りの上無機質クロス貼り	LGS	化粧PB79.5	デイルーム1	塩ビ製	○	
		事務室、デイルーム2、食堂、廊下、倉庫	±0	2,500	MO	VS ア2.5貼り	ソフト巾木	100	MO LGS	PBT15+15両面二重貼りの上無機質クロス貼り	LGS	化粧PB79.5	事務室、デイルーム2、食堂、廊下、倉庫	塩ビ製	○	
		洗面所、女子便所、多目的便所	±0	2,500	MO	VS ア2.5貼り	床材立上	100	MO LGS	PBT15+15両面二重貼りの上KK-1t5	LGS	化粧PB79.5	洗面所、女子便所、多目的便所	塩ビ製		
眼科外来	男子便所	±0	2,500	MO	50角タイル貼り	壁に同じ		LGS	PBT15+15両面二重貼りの上KK-1t5	LGS	化粧PB79.5	男子便所	塩ビ製			
	診察室2、廊下2、医師控室	±0	2,500	MO	VS t2.5貼り	ソフト巾木	100	LGS	PBT15+15両面二重貼りの上無機質クロス貼り	LGS	化粧PB79.5	診察室2、廊下2、医師控室	塩ビ製	○	*医師控室:天井裏吹付材、アスベスト含有建材の可能性あり。(平面図参照) アスベスト分析調査を行うこと。	
	眼科診察室	±0	2,500	MO	VS ア2.5貼り	ソフト巾木	100	MO LGS	AEP塗り PB715+15両面二重貼りの上	LGS	化粧PB79.5	眼科診察室	塩ビ製	○		
	喫室	±0	2,500	MO	VS ア2.5貼り	ソフト巾木	100	MO LGS	AEP塗り PB715+15両面二重貼りの上	LGS	化粧PB79.5	喫室	塩ビ製	○		
	外来待合室	±0	2,500	MO	VS ア2.5貼り	ソフト巾木	100	MO LGS	AEP塗り PB715+15両面二重貼りの上	LGS	化粧PB79.5	外来待合室	塩ビ製			
便所	±0	2,500	MO	VS ア2.5貼り (シーメス工法) 耐水工法	床材立上	100	LGS	PB715+15両面二重貼りの上KK-1 ア5	LGS	KK-2 ア6 VP塗り	便所	塩ビ製		手摺		

\*床:接着剤にアスベスト含有の可能性あり。

外部	車庫	GL±0	2,700	C	無機系硬質塗料	壁に同じ		C	吹付タイル (RE): 防水型複層塗料E	LGS	KK-2 ア6 アクリルリシン吹付	車庫	塩ビ製	
----	----	------	-------	---	---------	------	--	---	----------------------	-----	-------------------	----	-----	--

記号	説明	記号	説明	仕上凡例	仕上凡例	仕上凡例	仕上凡例
C (RC)	コンクリート (床は、コンクリート金コシ挿入)	SOP	合成樹脂適合ペイント塗り	化粧石膏ボード9.5	不燃第1007号 (トラバーチン)	防火上主要種仕切	(注) 特記なき限り天井 化粧石膏ボード9.5 (不燃) は、トラバーチン仕様とする。
CB	コンクリートブロック	EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り (アクリル系)	石膏ボード9.5	不燃第1004号 (石膏積層板)	鉄線下地耐火壁 (1時間耐火)	----- LGS下地 PB (ア) 15両面二重貼
L (LGS)	軽量鉄骨下地	VP	塩化ビニル樹脂エナメル塗り	石膏ボード12.5、ア15	不燃第1003号	(他) W1059号 <高野防火パネルB15> 同等	(注) 壁においては仕上に記入があっても防火、耐火区画にあたる壁は防火、耐火工法により施工を行う。
W	木製下地	MP	鋼板用耐油性合成樹脂適合ペイント塗り	無石綿ケイ酸カルシウム板	不燃第1061号		
MO	モルタル塗り	CL	クリヤラッカー塗り	化粧石膏ボード9.5	不燃第1101号		
ACE	押出中空セメント板	OSW	オイルステインフニス塗り	化粧石膏ボード9.5、ア12	不燃第1021号	無機質クロス:防火認定品	壁紙材料 系0005号
PB	石膏ボード	UC	ポリウレタン樹脂クリヤー塗り	若狭板音吸ア9、ア12	不燃第1021号	不燃下地:防火性能 不燃	準不燃下地:防火性能 準不燃
KK-1	化粧ケイ酸カルシウム板	SUS	ステンレス (特記なき限りは、SUS304)	若狭板音吸ア19 (リブ付)	不燃第1031号		
KK-2	ケイ酸カルシウム板	PL	金網板	グラスウール50	不燃第1031号		
GL	GL工法	LC	軽量コンクリート	化粧石膏ボード9.5 (木目納)	準不燃第2016号		
防水	防水施工面	VS	ビニルシート (ビーマリウム、SRシート 相当品)	浴室用硬質成型板 (バスリブ)	準不燃 (他) 第2260号		
AIC	軽量鉄骨コンクリート版	HVS	耐衝撃床用シート	バレー吹付	基材同等第0004号		
FB	フローリングブロック	HVT	ホニズニスビニルタイル	吹付タイル	基材同等第0004号		
FP板	フォームポリスチレン板	VT	ビニル床タイル	アクリルリシン吹付	基材同等第0003号		
LP	ローパーテーション	SL	ステンレス流し台	SOP塗り、VP塗り、EP塗り	基材同等第0001号		
PT	ステンレスパーテーション	ST	ステンレス作業台	SOP塗り、VP塗り、EP塗り	基材同等第0001号		
耐火ボード	繊維混入ケイ酸カルシウム板	LD	洗面化粧台	鏡面石糸人造石	アドロン グラニツトGA-5 相当品		
SC	サンダーコンクリート金コシ挿入	UB	ユニットバス	タタミ	化学タタミ おらサンド相当品		
		US	ユニットシャワー	防湿塗料	ABC高含 ハードナS相当品		
		UT	ユニットトイレ	無機質クロス	AAランク 防火1級		
				バスカベ	松下電工 マーブル調相当品		
				バスリブ	準不燃材 松下電工 相当品		
				フローリング	松下電工 ハイカラーフローリング (ア) 15相当品		
				面貼りフローリング	松下電工 ウェッディフロアエース (ア) 15相当品		

□: アスベスト含有建材を示す。


<p align="center">株式会社 内藤建築事務所</p> <p align="center">〒100-0001 東京都千代田区中 大塚町1-8-2</p> <p align="center">- 代表取締役 神先 誠司 (株) 03-5511-1318</p> <p align="center">- 一般職 山本 篤史 (株) 03-5511-1319</p>		<p>工務名 市民病院エレベータ棟改修および別館解体工事</p> <p>図名 別館 仕上表 (2)</p> <p>縮尺 A1: - A3: -</p> <p>設計日</p>	<p>図番 KA-005</p>
--	--	--	------------------

【内部仕上表】												【内部仕上表】																			
階	室名	床高	天井高	外壁 断熱	床	材料 種別	巾木	壁・柱型	材料 種別	天井	材料 種別	廻縁	カーテン ボックス	備考	階	室名	床高	天井高	外壁 断熱	床	材料 種別	巾木	壁・柱型	材料 種別	天井	材料 種別	廻縁	カーテン ボックス	備考		
2階	男子更衣室 女子更衣室		2,500	○	衝撃吸収ビニル床シート	対象外	ビニル巾木 H=100	無機質クロス LGS+GBT地(平置)参照	対象外	ロックウール化粧吸音板t9	対象外	塩ビ	○	CR	2階	サブステーション		2,500		ビニル床シート	対象外	床材立上げ H=100	対象外	無機質クロス LGS+GBT地(平置)参照	対象外	無機質クロス	対象外	塩ビ		可動カウンター 棚 電気錠制御盤 防液堤	
	倉庫1		2,500	○	モルタル下地 ビニル床シート ポーダー付	対象外	ビニル巾木 H=100	無機質クロス	対象外	化粧GB厚9.5	対象外	塩ビ	○			機械室		直天	○	耐業品性ビニル床シートt2.0 一部・塗膜防水	対象外	床材立上げ H=100	対象外	ロックウール吸音板 厚50	対象外	LGS+GBT9.5	対象外	ロックウール吸音板 厚50	対象外		
	前室1		2,500	○	モルタル下地 無機質クロス	対象外	ビニル巾木 H=100	無機質クロス	対象外	化粧GB厚9.5	対象外	塩ビ	○	手摺 洗面カウンター 化粧鏡		倉庫2		2,500	○	モルタル下地 ビニル床シート	対象外	ビニル巾木 H=100	対象外	E P LGS+GBT地(平置)参照	対象外	化粧GB厚9.5	対象外	塩ビ			
	ホール		2,500	○	モルタル下地 ビニル床シート ハタン張り	対象外	ビニル巾木 H=300	無機質クロス	対象外	ロックウール化粧吸音板t12リア	対象外	塩ビ	○	手摺 点字タイل		前室2		2,500		モルタル下地 ビニル床シート	対象外	ビニル巾木 H=100	対象外	無機質クロス LGS+GBT地(平置)参照	対象外	化粧GB厚9.5	対象外	塩ビ			
	廊下		2,500	○	モルタル下地 ビニル床シート ポーダー付	対象外	ビニル巾木 H=100	無機質クロス	対象外	LGS+GB12.5下地 化粧GB厚9.5	対象外	塩ビ																			
	患者便所・職員便所		2,500	○	モルタル下地 耐水性ビニル床シート	対象外	床材立上げ H=100	A E LGS+GBT地(平置)参照	対象外	ロックウール化粧吸音板t9	対象外	塩ビ		手摺 洗面カウンター 化粧鏡		会議室6		2,400	○	モルタル下地 耐水性ビニル床シート	対象外	ビニル巾木 H=100	対象外	無機質クロス LGS+GBT地(平置)参照	対象外	化粧GB厚9.5	対象外	塩ビ	○		
	多目的便所		2,500	○	モルタル下地 耐水性ビニル床シート	対象外	床材立上げ H=100	A E LGS+GBT地(平置)参照	対象外	ロックウール化粧吸音板t9	対象外	塩ビ		手摺		倉庫1		2,400	○	モルタル下地 ビニル床シート	対象外	ビニル巾木 H=100	対象外	E P LGS+GBT地(平置)参照	対象外	化粧GB厚9.5	対象外	塩ビ	○		
	リネン庫		2,500	○	モルタル下地 ビニル床シート	対象外	床材立上げ H=100	A E LGS+GBT地(平置)参照	対象外	化粧GB厚9.5	対象外	塩ビ	○	可動式踏み台 棚		倉庫2		2,400		モルタル下地 ビニル床シート	対象外	ビニル巾木 H=100	対象外	E P LGS+GBT地(平置)参照	対象外	化粧GB厚9.5	対象外	塩ビ			
	会議室5		2,500	○	モルタル下地 ビニル床シート	対象外	ビニル巾木 H=100	無機質クロス	対象外	化粧GB厚9.5	対象外	塩ビ	○	STL		ホール		2,400	○	モルタル下地 ビニル床シート ハタン張り	対象外	ビニル巾木 H=100	対象外	無機質クロス LGS+GBT地(平置)参照	対象外	ロックウール化粧吸音板t9	対象外	塩ビ	○	手摺 点字タイル	
	カンファレンス室 Dr室		2,500	○	モルタル下地 ビニル床シート	対象外	ビニル巾木 H=100	無機質クロス	対象外	化粧GB厚9.5	対象外	塩ビ	○	本棚		廊下1		2,400		モルタル下地 ビニル床シート ポーダー付	対象外	ビニル巾木 H=100	対象外	無機質クロス LGS+GBT地(平置)参照	対象外	ロックウール化粧吸音板t9	対象外	塩ビ		手摺 STL STL	
	旧人工透析センター		2,500	○	モルタル下地 ビニル床シート	対象外	床材立上げ H=100	A E LGS+GBT地(平置)参照	対象外	無機質クロス	対象外	塩ビ	○	透折カウンター 棚 可動カウンター STL		リハビリコーナー		2,400	○	衝撃吸収ビニル床シート(木目)	対象外	ビニル巾木 H=100	対象外	無機質クロス LGS+GBT地(平置)参照	対象外	ロックウール化粧吸音板t9	対象外	塩ビ	○		

\*床:接着剤にアスベスト含有の可能性あり。

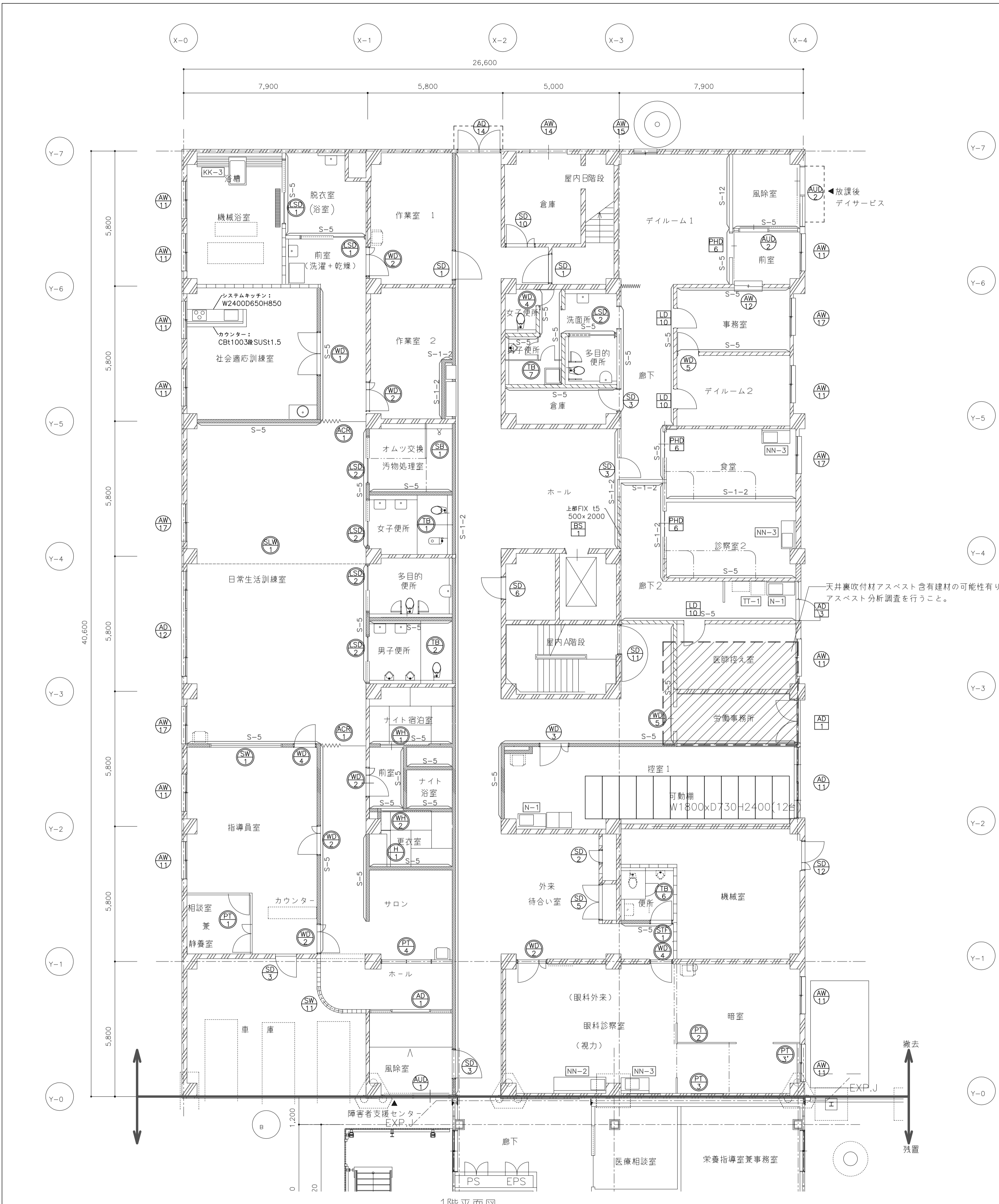
\*床:接着剤にアスベスト含有の可能性あり。

○:アスベスト含有建材を示す。

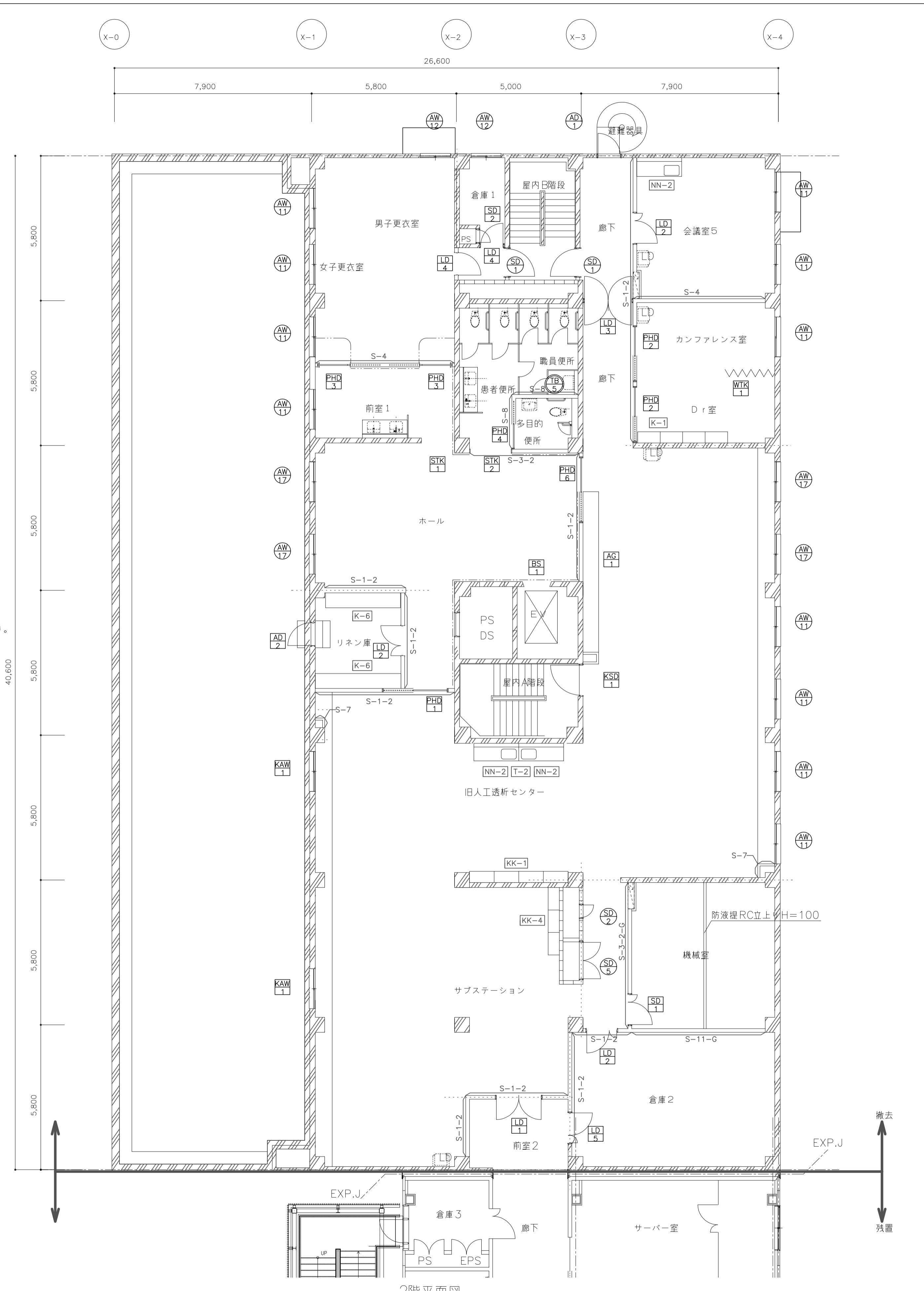
 株式会社 内藤建築事務所	(一般建築士 登録第244140号) 構造設計一般建築士 第7089号 矢口 正宏 【建築関係法令に規定された部分の適合を示す】	工事名 市民病院エレベータ核改修および別館解体工事	図章
東京都左京区田中大塚町182	(一般建築士 登録第301974号) 設備設計一般建築士 第5999号 山本 篤史 【建築関係法令に規定された部分の適合を示す】	図名 別館 仕上表 (3)	縮尺 A1: - A3: -
一般建築士 神先 誠司 (登録第91139号) 一般建築士事務所 京都府知事登録(31A)第22291号		設計日	KA-006

内部仕上表															
階	部門	室名	床高 (FL)	天井高	下地	床			腰・壁			天井	廻り材	ファイナッシュボックス (不製SOP)	備考
						仕上	高さ	下地	仕上	高さ	下地				
4	NS	1B、2B、3B、4B	±0	2.400	MO	VS ア2.5貼り	ソフト巾木	100	MO LGS	無機質クロス貼り PBア15+15両面二重貼りの上	LGS	化粧PBア9.5	塩ビ製	○	ガードルック 3/BED
		NS	±0	2.400	MO	VS ア2.5貼り	ソフト巾木	100	MO LGS	無機質クロス貼り PBア15+15両面二重貼りの上	LGS	化粧PBア9.5	塩ビ製	○	カウンター、PT 作業台 3STL-34 TD-40 予定表 (1800x900)
		多目的便所、便所	±0	2.400	MO	VS ア2.5貼り (シームレス工法) 耐水工法	床材立上	100	LGS	PBア15+15両面二重貼りの上KK-1 ア5	LGS	KK-2 ア6 VP塗り	塩ビ製		手摺
		倉庫	±0	2.400	MO	VS ア2.5貼り	ソフト巾木	100	MO LGS	VP塗り PBア15+15両面二重貼りの上VP塗り	LGS	化粧PBア9.5	塩ビ製		
		深溝コーナー	±0	2.400	MO	VS ア2.5貼り	ソフト巾木	100	MO LGS	PBア15+15両面二重貼りの上KK-1 ア5	LGS	化粧PBア9.5	塩ビ製		ST-12, 台
		男子便所、女子便所	±0	2.400	SC	VS ア2.5貼り (シームレス工法) 耐水工法	床材立上	100	LGS	PBア15+15両面二重貼りの上KK-1 ア5	LGS	KK-2 ア6 VP塗り	塩ビ製		手摺
		多目的便所	±0	2.400	SC	VS ア2.5貼り (シームレス工法) 耐水工法	床材立上	100	LGS	PBア15+15両面二重貼りの上KK-1 ア5	LGS	KK-2 ア6 VP塗り	塩ビ製		手摺 銅板
		汚物処理室	±0	2.400	SC	VS ア2.5貼り (シームレス工法) 耐水工法	床材立上	100	LGS	PBア15+15両面二重貼りの上KK-1 ア5	LGS	KK-2 ア6 VP塗り	塩ビ製		SL-6, 拵
		洗濯コーナー	±0	2.500	MO	VS ア2.5貼り (2色貼り分け)	ソフト巾木	100	MO	床: 塗床厚材H=900・無機質クロス貼り 一部GL工法及びLGS下地	LGS	化粧PBア9.5	塩ビ製		ストレッチャー摺り
		浴室	—	—		ユニットバス	ユニットバス			ユニットバス		ユニットバス			ユニットバス1416 (TOTO:JBG1416D) ステンレス手摺
		脱衣室	+100	2.400	MO	VS ア2.5貼り (シームレス工法) 耐水工法	床材立上	100	LGS	PBア15+15両面二重貼りの上KK-1 ア5	LGS	KK-2 ア6 VP塗り	塩ビ製		
	換気浴室	+225	2.400 ~2.500	MO	モザイクタイル貼り	壁: 同色		MO	100角タイル貼り PB (ア) 12.5+KK-2 (ア) 8T16 ルーフィング貼り	LGS	浴室用床材成型板	アルミ製		グレーチング ビニルカーテン ステンレス手摺	
PH	EVホール	EVホール	±0	2.300	MO	モルタルコテ 防塵塗料塗り	モルタルコテ	100	C	モルタルコテ AEP	W	PBア9.5 目隠シ EP	塩ビ製		
		EV機械室	±0	—	C	モルタルコテ 防塵塗料塗り	モルタルコテ	100	C	グラスウール (40K ア50) ガラスクロス貼り	C	グラスウール (40K ア50) ガラスクロス貼り	塩ビ製		
1-4 共通	EVホール	EVホール (1階、4階)	±0	2.500	MO	VS ア2.5貼り	ソフト巾木	100	MO	床: 塗床厚材H=900・無機質クロス貼り 一部GL工法及びLGS下地	LGS	化粧PBア9.5	塩ビ製		ストレッチャー摺り 消火器ボックス
		階段	±0	最上階 2.400	MO	VS ア2.5貼り	きさら巾木	330	MO	高気吹付タイル	C LGS	段差 パーライト (ア) 5吹付 化粧PBア9.5	塩ビ製		既設手摺 SOP塗り替え
		控室、労働事務室、倉庫 (1階)	±0	2.400	MO	VS ア2.5貼り	ソフト巾木	100	MO	無機質クロス貼りPB15+15両面二重貼りの上	LGS	化粧PBア9.5	塩ビ製		*労働事務所: 天井裏吹付け材アスベスト含有建材の可能性あり。(平面図参照) アスベスト分析調査を行うこと。
		機械室 (1階)	±0	—	MO	モルタルコテ 防塵塗料塗り	モルタルコテ	100	MO	グラスウール (40K ア50) ガラスクロス貼り	C	グラスウール (40K ア50) ガラスクロス貼り	塩ビ製		

□: アスベスト含有建材を示す。



1階平面図

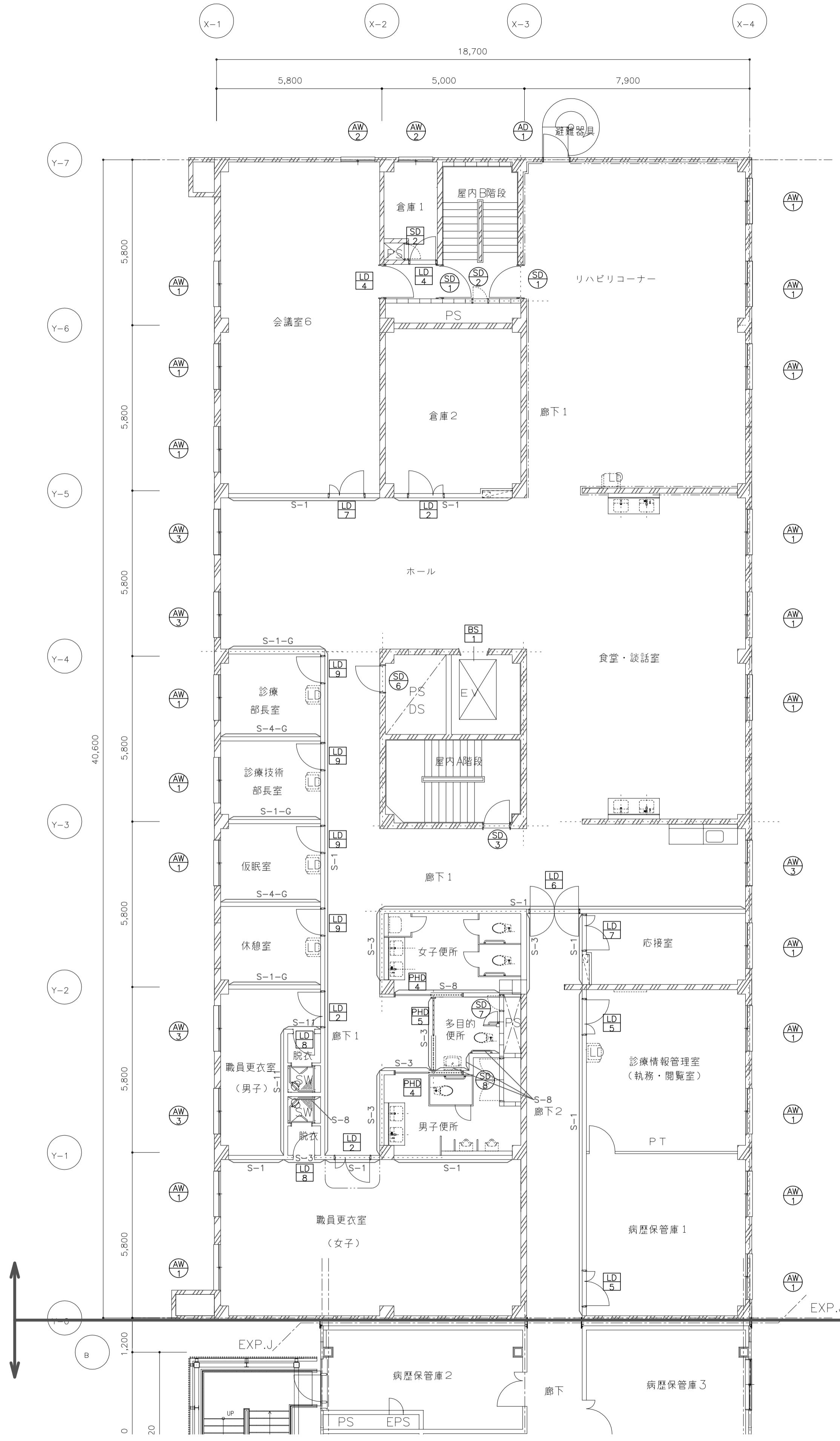


2階平面図

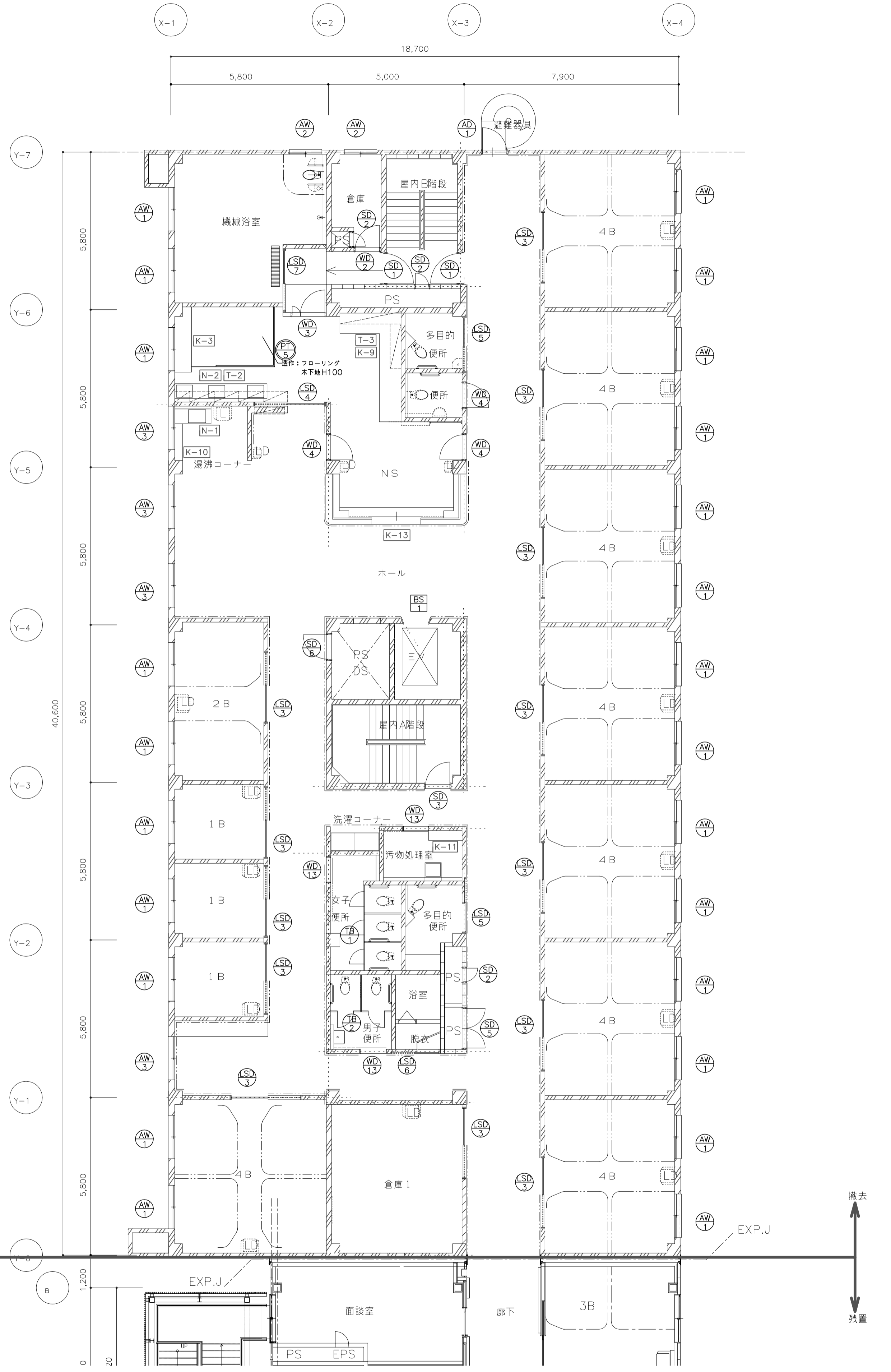
- |    |   |   |
|----|---|---|
| 凡例 | 鉄筋コンクリート壁 (t150 D10-200@ダブルチドリ)                     | S-4: スタッド W100+GBt9.5+GBt12.5 (両面) (スラブ下まで)     |
|    | CB壁 t150  | S-5: スタッド W100+GBt9.5+GBt12.5 (両面) (天井まで)       |
|    | S-1: スタッド W100+強化GBt15+強化GBt15 (両面) (スラブ下まで)        | S-8: スタッド W100+GB-St12.5+ケイカル板t8 (両面) (スラブ下まで)  |
|    | S-1-2: スタッド W100+強化GBt21+強化GBt21 (両面) (スラブ下まで)      | S-11: スタッド W100+片側GB-St12.5+ケイカル板t8 (スラブ下まで)    |
|    | S-3: スタッド W100+片側強化GBt15+強化GBt15+ケイカル板t8 (スラブ下まで)   | S-12: ガラスブロック積 (145x145x95)                     |
|    | S-3-2: スタッド W100+片側強化GBt15+強化GBt15+ケイカル板t8 (スラブ下まで) | 注 G: 遮音壁 (グラスウール32kg/m <sup>3</sup> 50mm充填) とする |

<b>株式会社 内藤建築事務所</b>		一般建築士 登録第24140号 構造設計一般建築士 第7089号 矢口 正宏 <small>【職務経歴記載に關する部分の適合】</small>	工事名 <b>市民病院エレベータ核改修および別館解体工事</b> 図名 <b>別館1階・2階平面図</b> 縮尺 A1:1/100 A3:1/200 設計日	図番 <b>KA-008</b>
京都府左京区田中大塚町182 一般建築士 神先 誠司 (登録第31131号) 一般建築士事務所 京都府知事登録(31A)第22291号		一般建築士 登録第301974号 設備設計一般建築士 第5999号 山本 篤史 <small>【職務経歴記載に關する部分の適合】</small>		





3階平面図



4階平面図

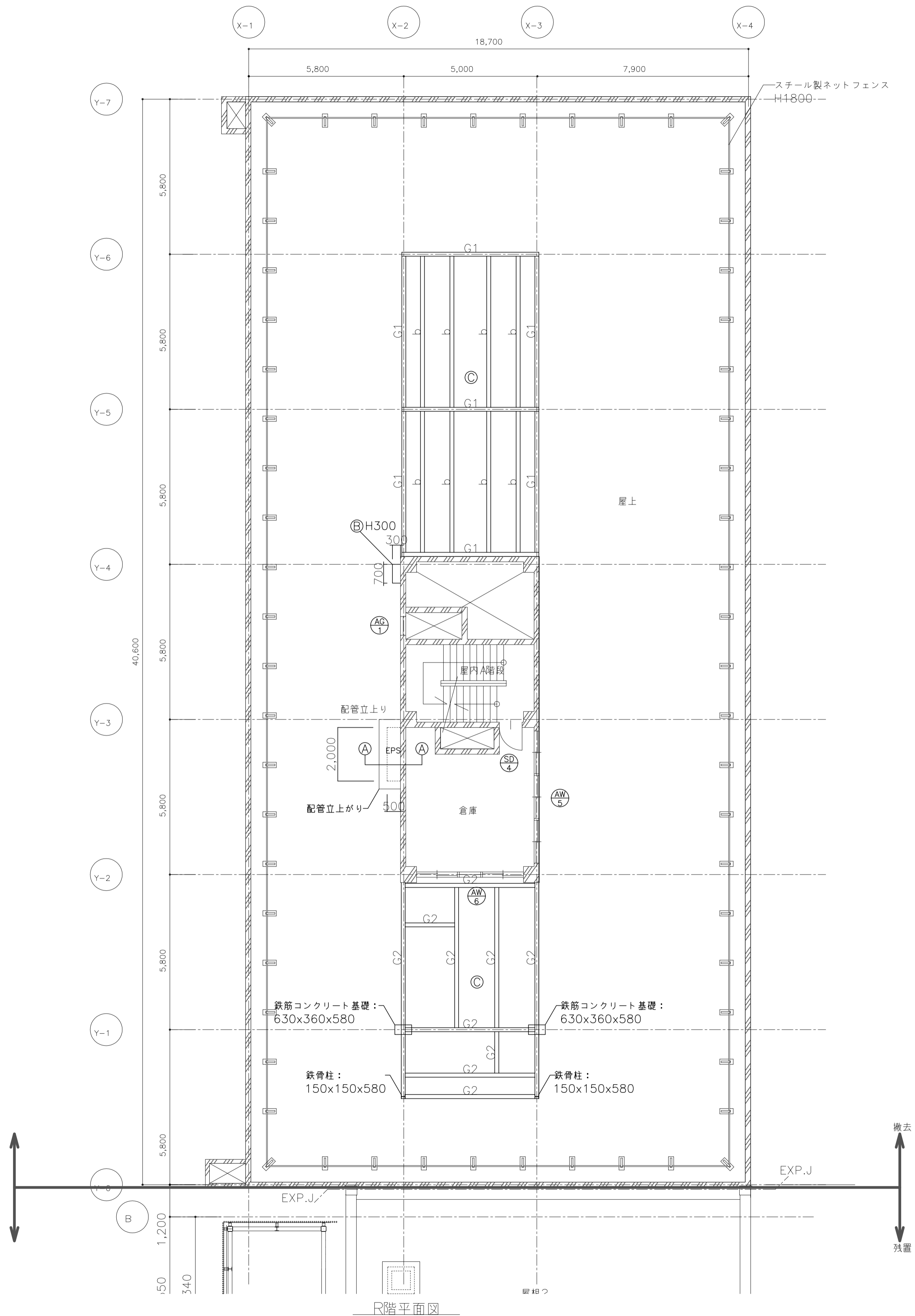
凡例	鉄筋コンクリート壁 (t150 D10-200@ダブルチドリ)	S-4: スタッドW100+GBt9.5+GBt12.5 (両面) (スラブ下まで)
	CB壁 t150	S-5: スタッドW100+GBt9.5+GBt12.5 (両面) (天井まで)
	S-1: スタッドW100+強化GBt15+強化GBt15 (両面) (スラブ下まで)	S-8: スタッドW100+GB-St12.5+ケイカル板t8 (両面) (スラブ下まで)
	S-1-2: スタッドW100+強化GBt21+強化GBt21 (両面) (スラブ下まで)	S-11: スタッドW100+片側GB-St12.5+ケイカル板t8 (スラブ下まで)
	S-3: スタッドW100+片側強化GBt15+強化GBt15+ケイカル板t8 (スラブ下まで)	S-12: ガラスブロック積 (145×145×95)
	S-3-2: スタッドW100+片側強化GBt15+強化GBt15+ケイカル板t8 (スラブ下まで)	注 G: 遮音壁 (グラスウール32kg/m <sup>3</sup> 50mm充填) とする

株式会社 内藤建築事務所

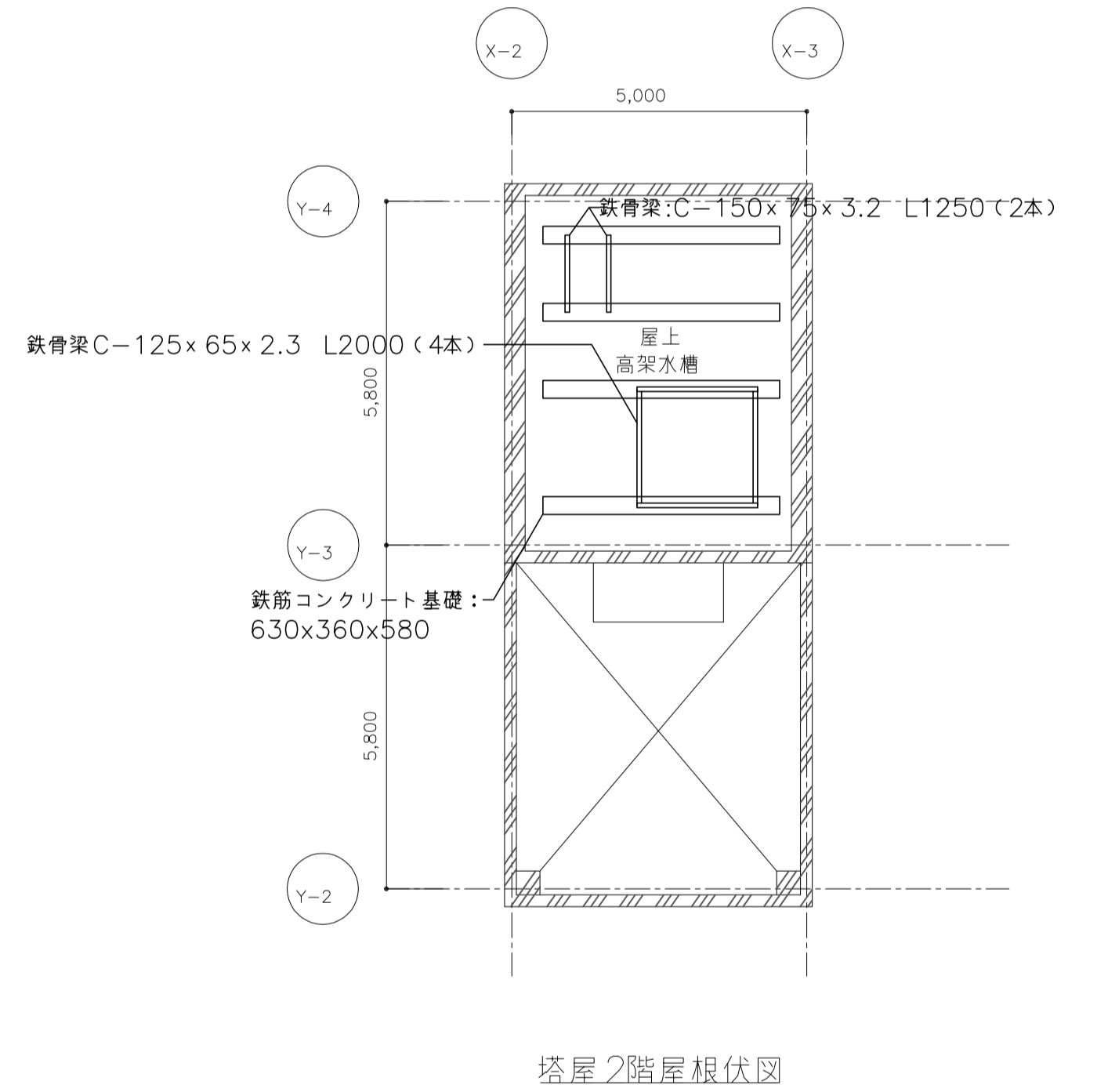
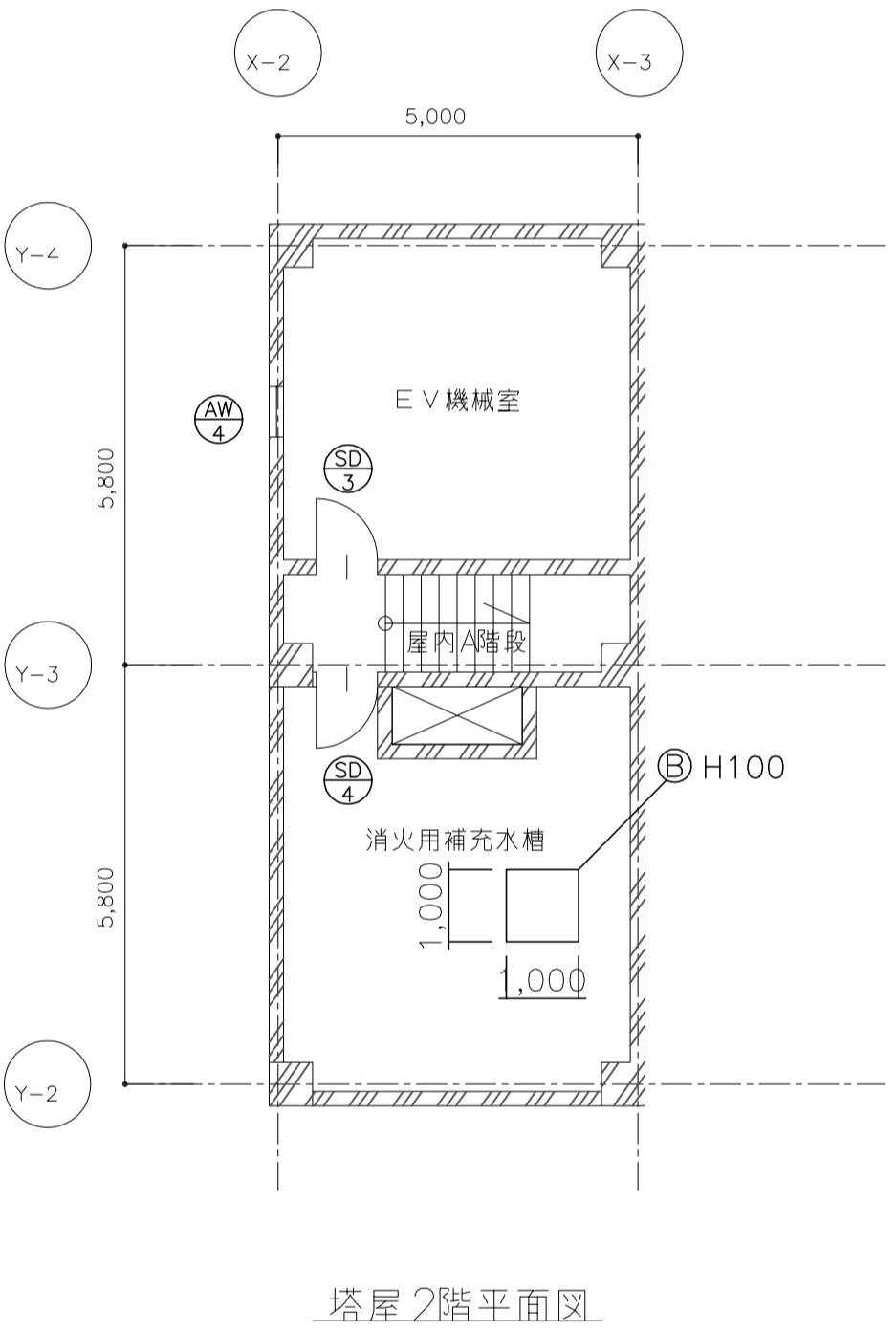
京都府左京区田中大塚町1 8 2  
 一般建築士 神先 誠司 (建築第311219号)  
 一般建築士事務所 京都府知事登録(31A)第22291号

(一般建築士 建築第24140号)  
 構造設計一般建築士 第7089号  
 矢口 正宏  
 【構造関係図面に印する部分が含まれます】  
 (一般建築士 建築第361974号)  
 設備設計一般建築士 第19999号  
 山本 篤史  
 【設備関係図面に印する部分が含まれます】

工事名	市民病院エレベータ棟改修および別館解体工事		図番	KA-009
図名	別館 3階・4階平面図	縮尺	設計日	
		A1: 1/100		
		A3: 1/200		

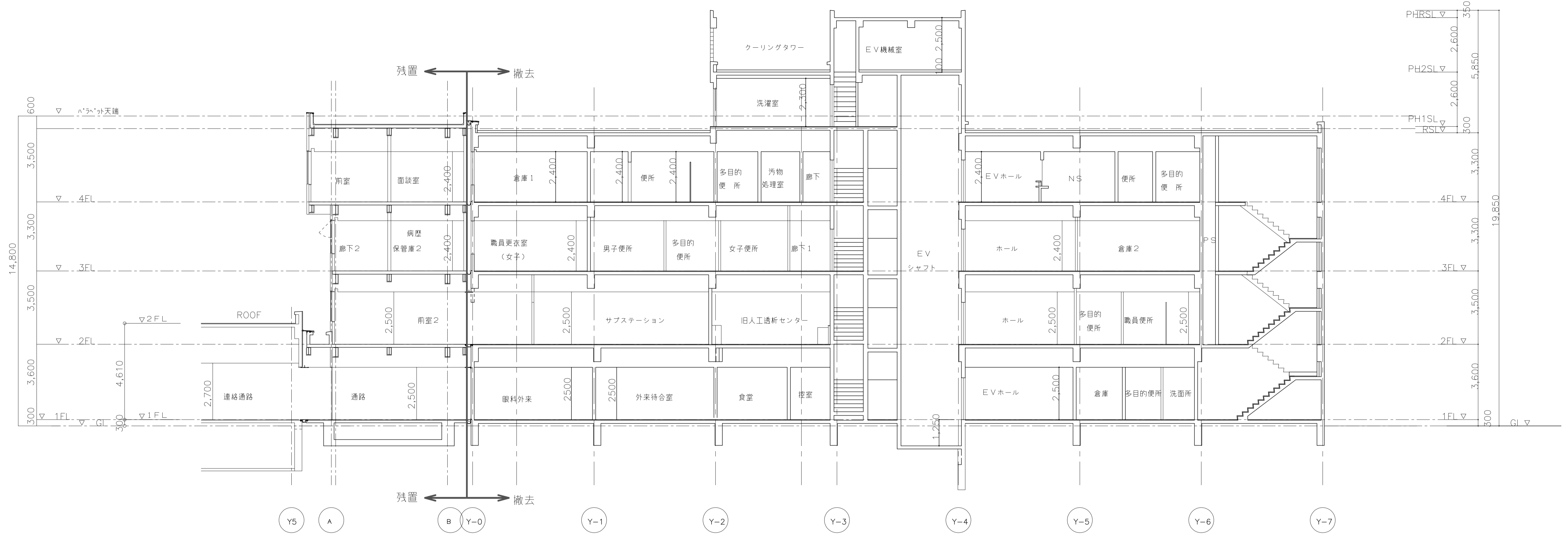


<p><b>Ⓐ 詳細図</b> A1: 1/20 A3: 1/40</p>	<p><b>Ⓑ 詳細図</b></p>	<p><b>◎ 部材リスト</b></p> <table border="1"> <tr> <td>G1 (G2)</td> <td>H-300×150×6.5×9 (H-200×150×6.5×9) 継手 GPL-9, 3-M20</td> </tr> <tr> <td>b</td> <td>H-300×150×6.5×9 継手 GPL-9, 3-M20</td> </tr> </table> <p>註 使用鋼材は全て溶融亜鉛メッキ処理とする</p>	G1 (G2)	H-300×150×6.5×9 (H-200×150×6.5×9) 継手 GPL-9, 3-M20	b	H-300×150×6.5×9 継手 GPL-9, 3-M20
G1 (G2)	H-300×150×6.5×9 (H-200×150×6.5×9) 継手 GPL-9, 3-M20					
b	H-300×150×6.5×9 継手 GPL-9, 3-M20					

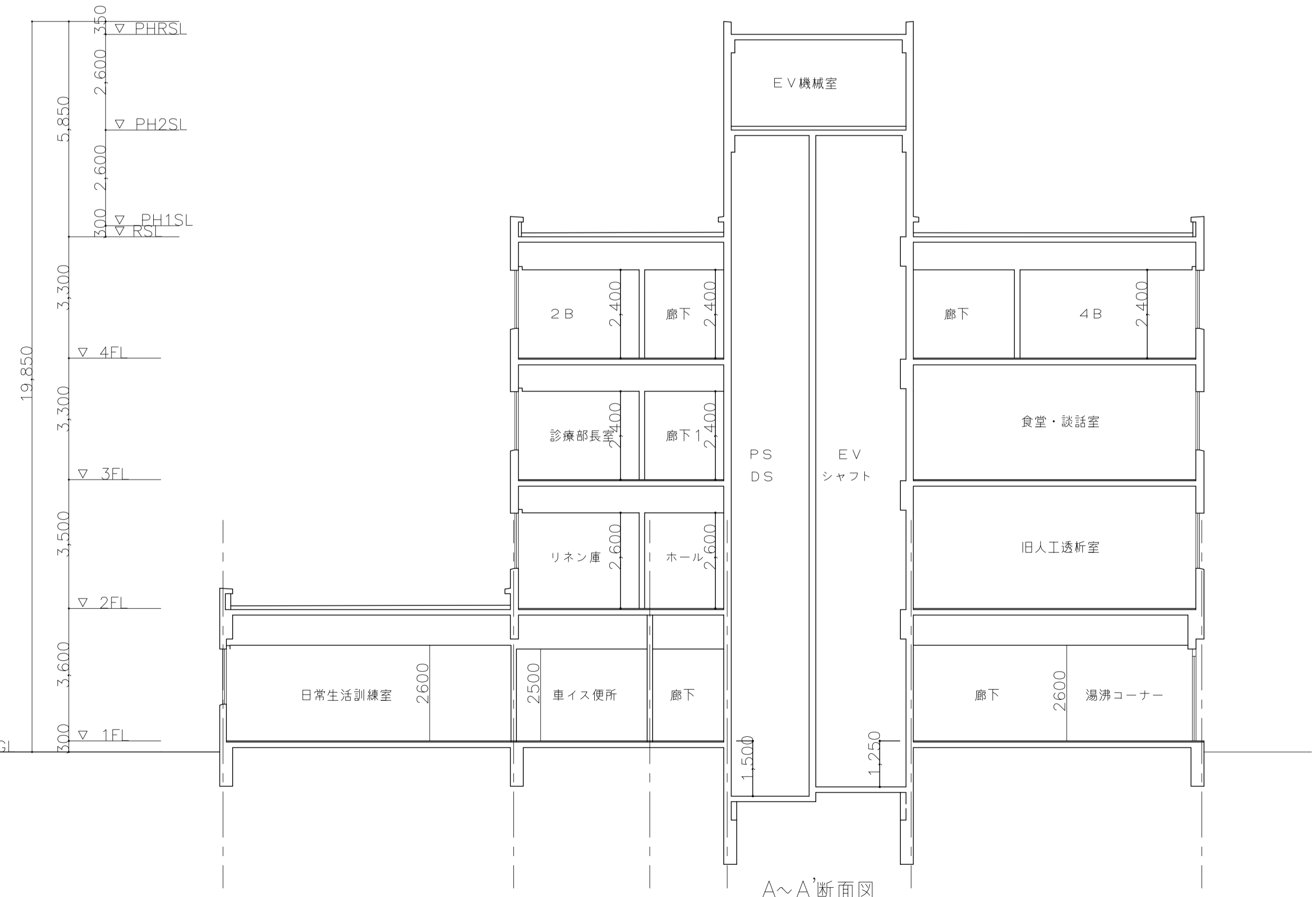


<p>凡例: 鉄筋コンクリート壁 (t150 D10-200@ダブルチドリ)</p> <p>CB壁 t150</p> <p>S-1: スタッド W100+強化GBt15+強化GBt15 (両面) (スラブ下まで)</p> <p>S-1-2: スタッド W100+強化GBt21+強化GBt21 (両面) (スラブ下まで)</p> <p>S-3: スタッド W100+片面強化GBt15+強化GBt15+ワイヤル板t8 (スラブ下まで)</p> <p>S-3-2: スタッド W100+片面強化GBt15+強化GBt21+ワイヤル板t8 (スラブ下まで)</p>	<p>S-4: スタッド W100+GBt9.5+GBt12.5 (両面) (スラブ下まで)</p> <p>S-5: スタッド W100+GBt9.5+GBt12.5 (両面) (天井まで)</p> <p>S-8: スタッド W100+GB-St12.5+ケイカル板t8 (両面) (スラブ下まで)</p> <p>S-11: スタッド W100+片面GB-St12.5+ケイカル板t8 (スラブ下まで)</p> <p>S-12: ガラスブロック積 (145×145×95)</p> <p>注 G: 遮音壁 (グラスウール32kg/m<sup>3</sup> 50mm充填) とする</p>
--	--

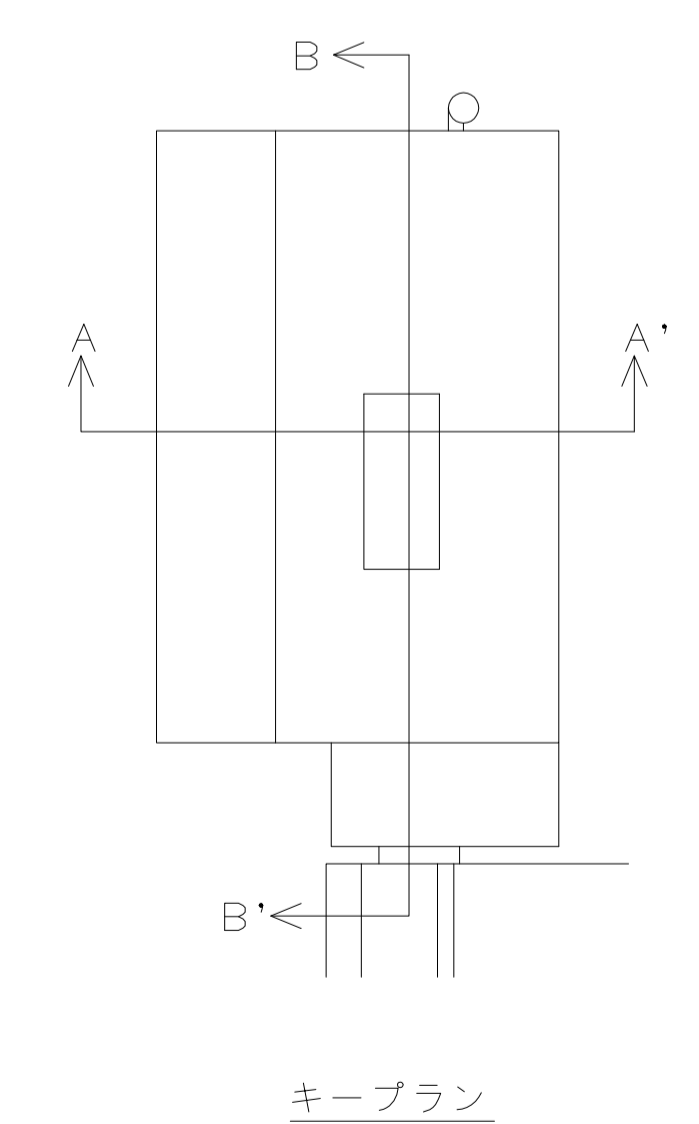
<p><b>株式会社 内藤建築事務所</b></p> <p>〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1</p> <p>代表取締役 神先 誠司 (電話) 03-5511-1319</p> <p>一般建築士事務所 東京都知事登録(31A)第22291号</p>		<p>(一級建築士 登録第244140号) 構造設計一般建築士 第7080号) 矢口 正宏</p> <p>【建築関係法規に準じた部分の適合を示す】</p> <p>(一級建築士 登録第361974号) 設備設計一般建築士 第5999号) 山本 篤史</p> <p>【建築関係法規に準じた部分の適合を示す】</p>	<p>工事名 市民病院エレベーター塔改修および別館解体工事</p> <p>図名 別館 R階・塔屋平面図</p> <p>縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200</p> <p>設計日</p>	<p>図番 KA-010</p>
--	--	---	--	------------------



B~B'断面図



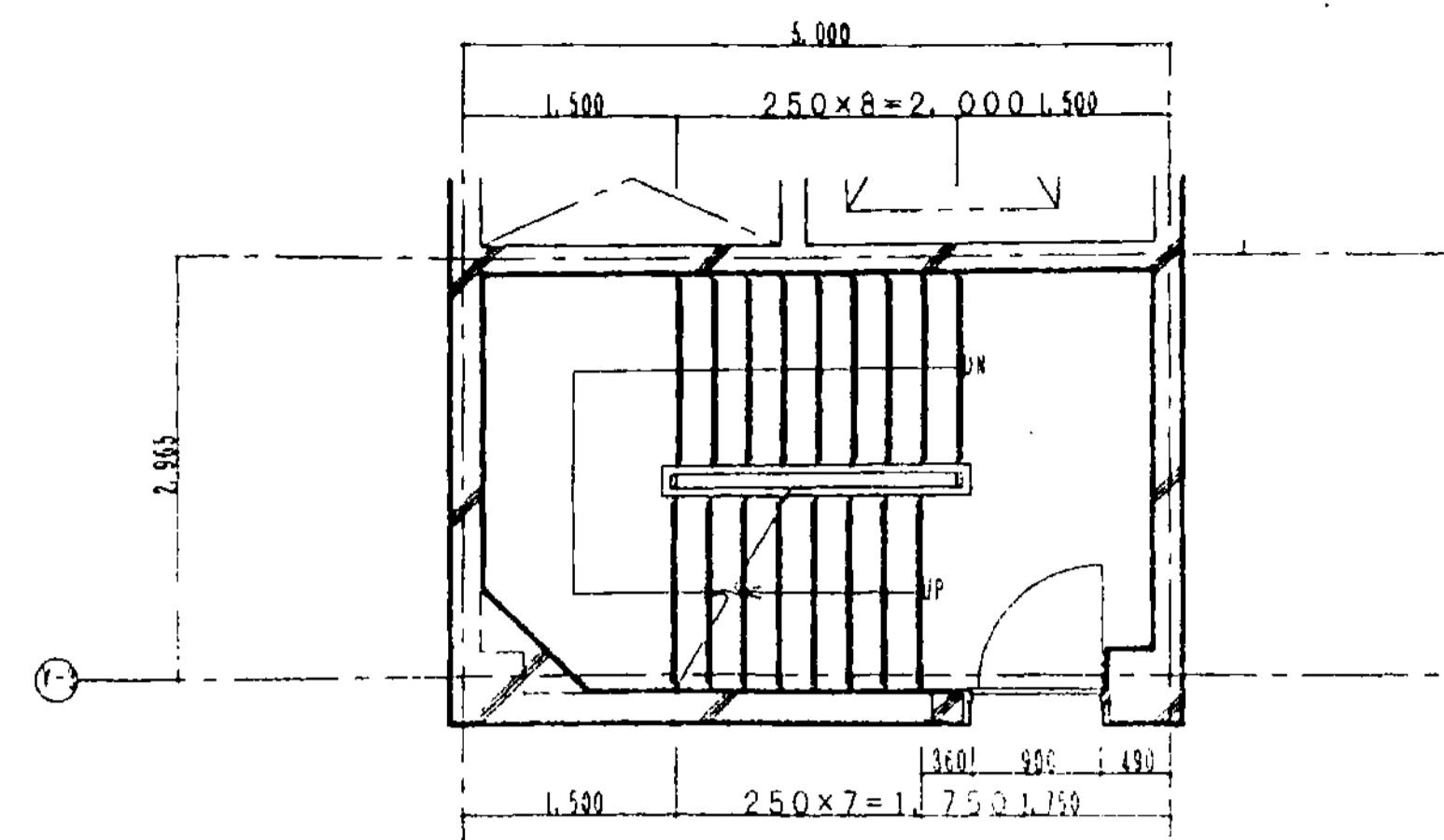
A~A'断面図



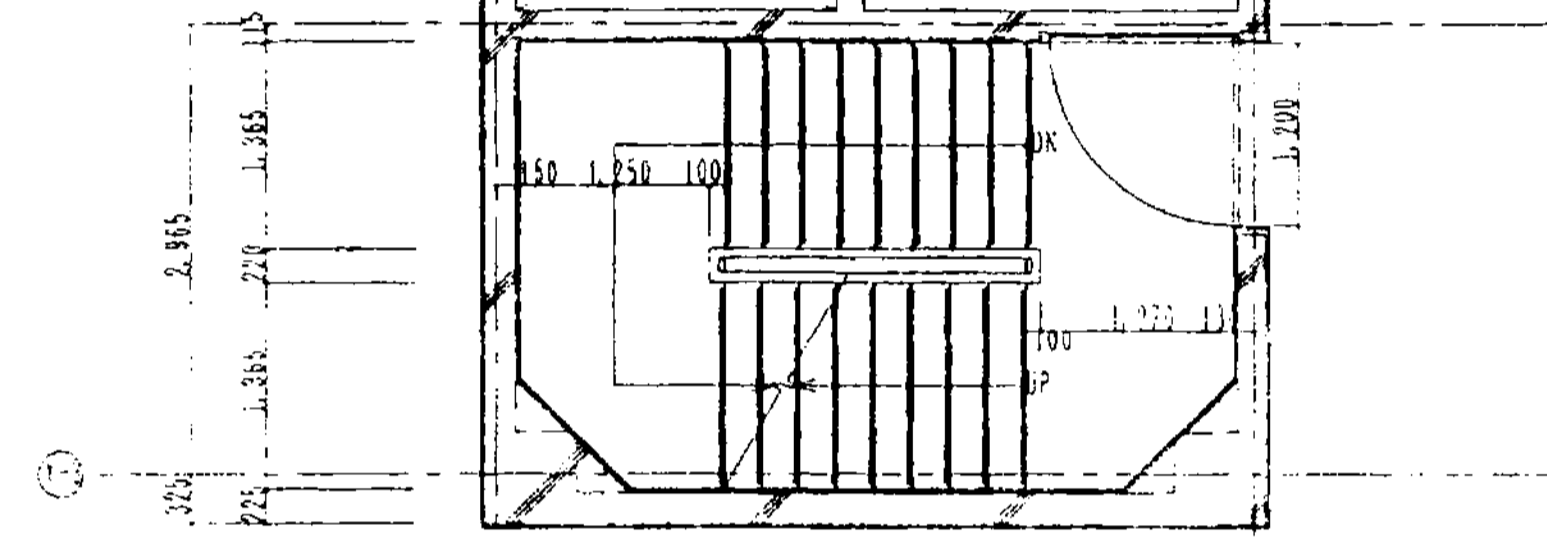
キープラン

株式会社 内藤建築事務所 京都府京都市左京区田中大塚町182 一般建築士 神先 誠司 (建築士 第01139号) 一般建築士事務所 京都府知事登録(31A)第22291号		一般建築士 建築第244140号 (構造設計一般建築士 第7089号) 矢口 正宏 【構造関係規定に關する部分に適合す】 一般建築士 建築第361974号 (設備設計一般建築士 第5999号) 山本 篤史 【設備関係規定に關する部分に適合す】	工事名 市民病院エレベータ核改修および別館解体工事	図名 別館 断面図	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	設計日	図章 KA-011

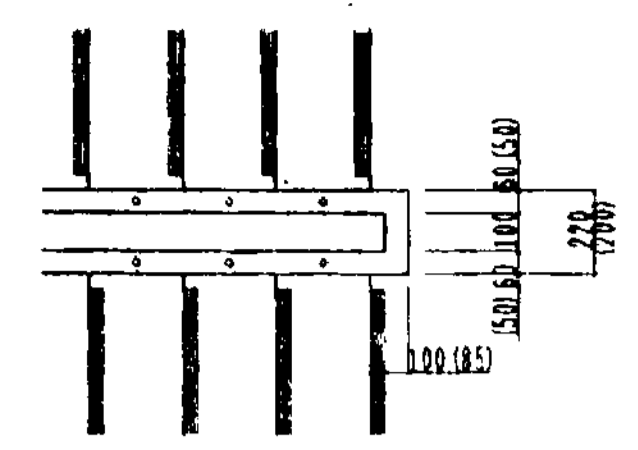
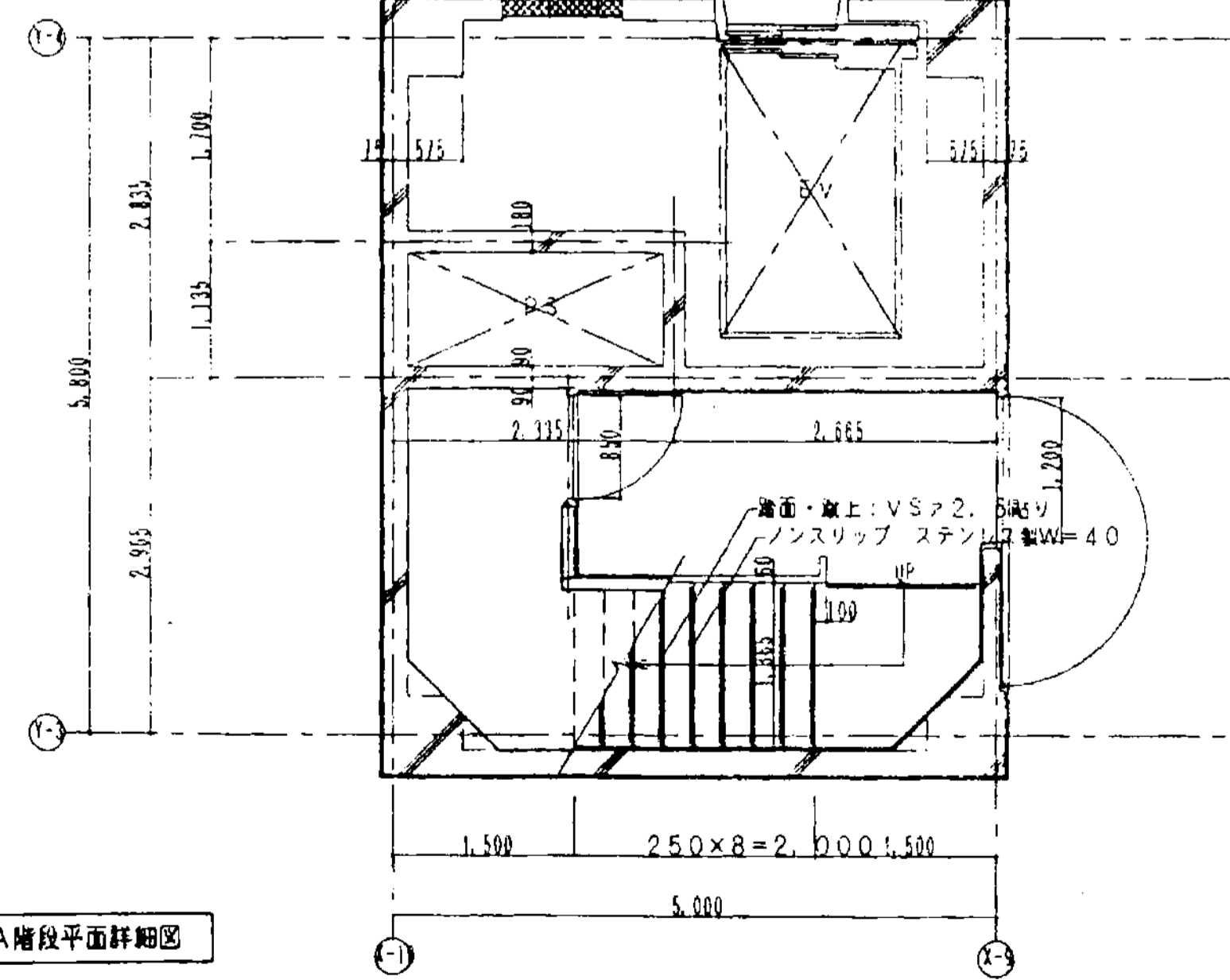
3~4階A階段平面詳細図



2階A階段平面詳細図

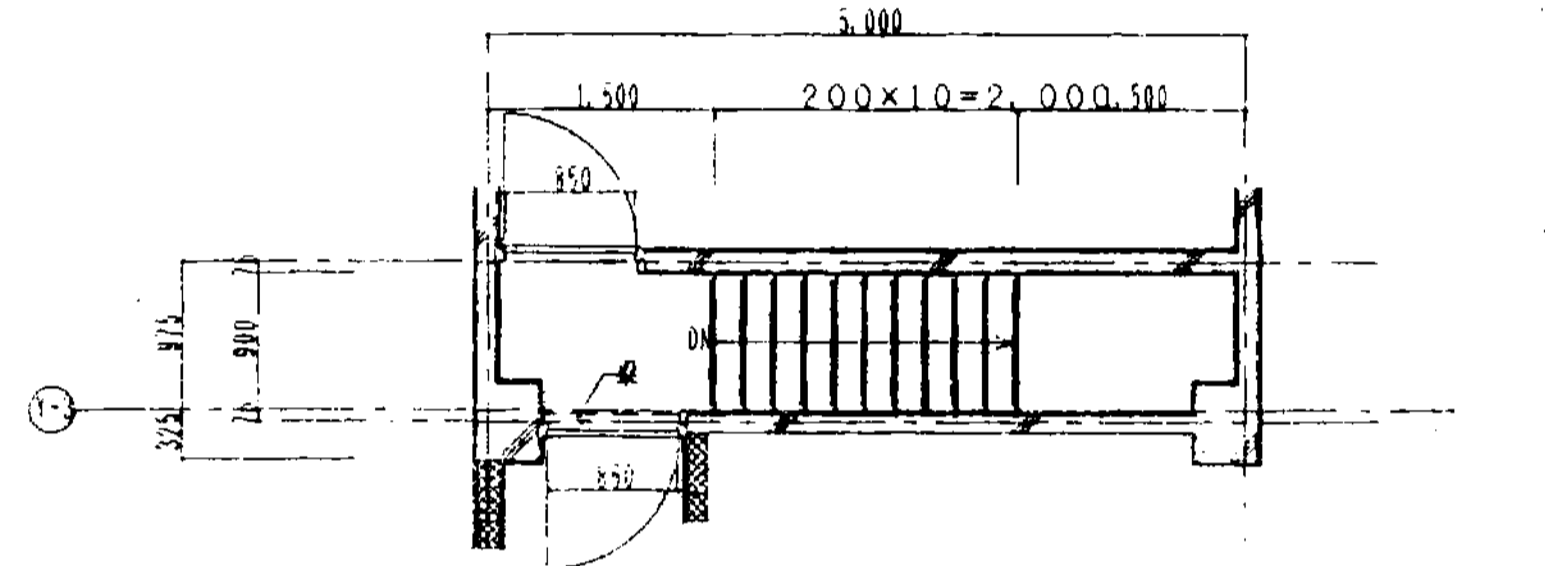


1階A階段平面詳細図

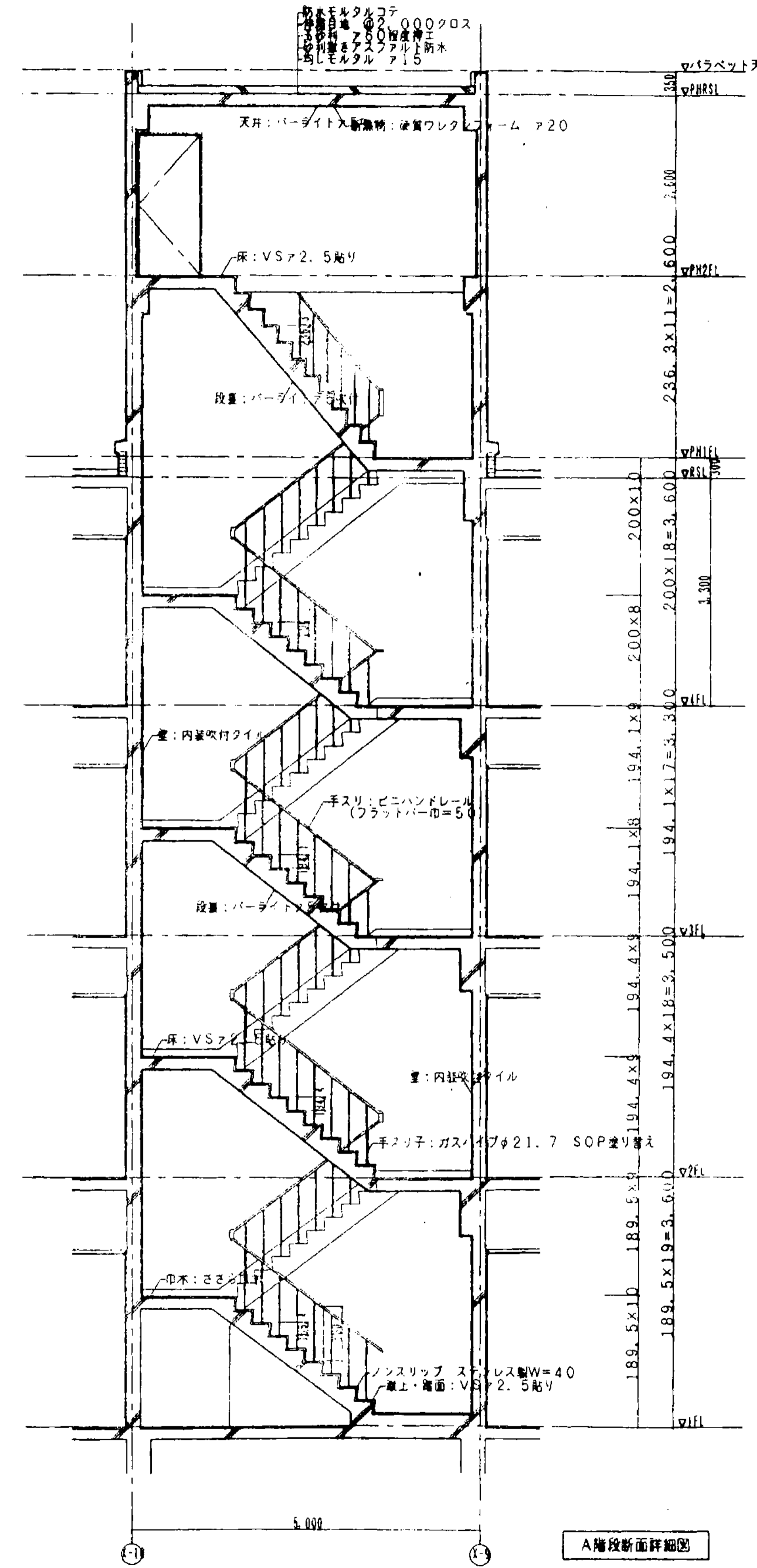
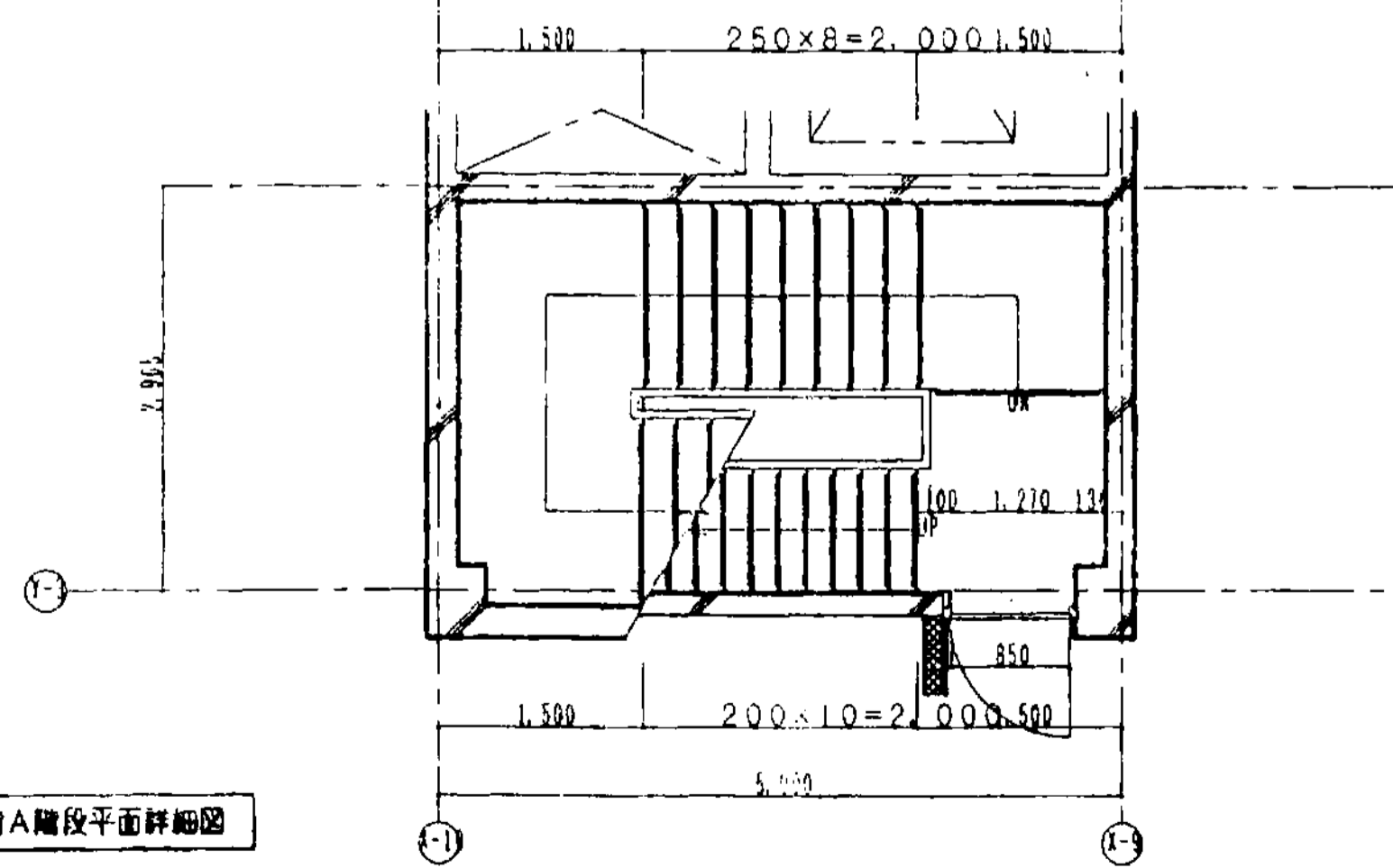


A階段部分詳細図 S=1:20

塔屋2階A階段平面詳細図



塔屋1階A階段平面詳細図



A階段断面詳細図

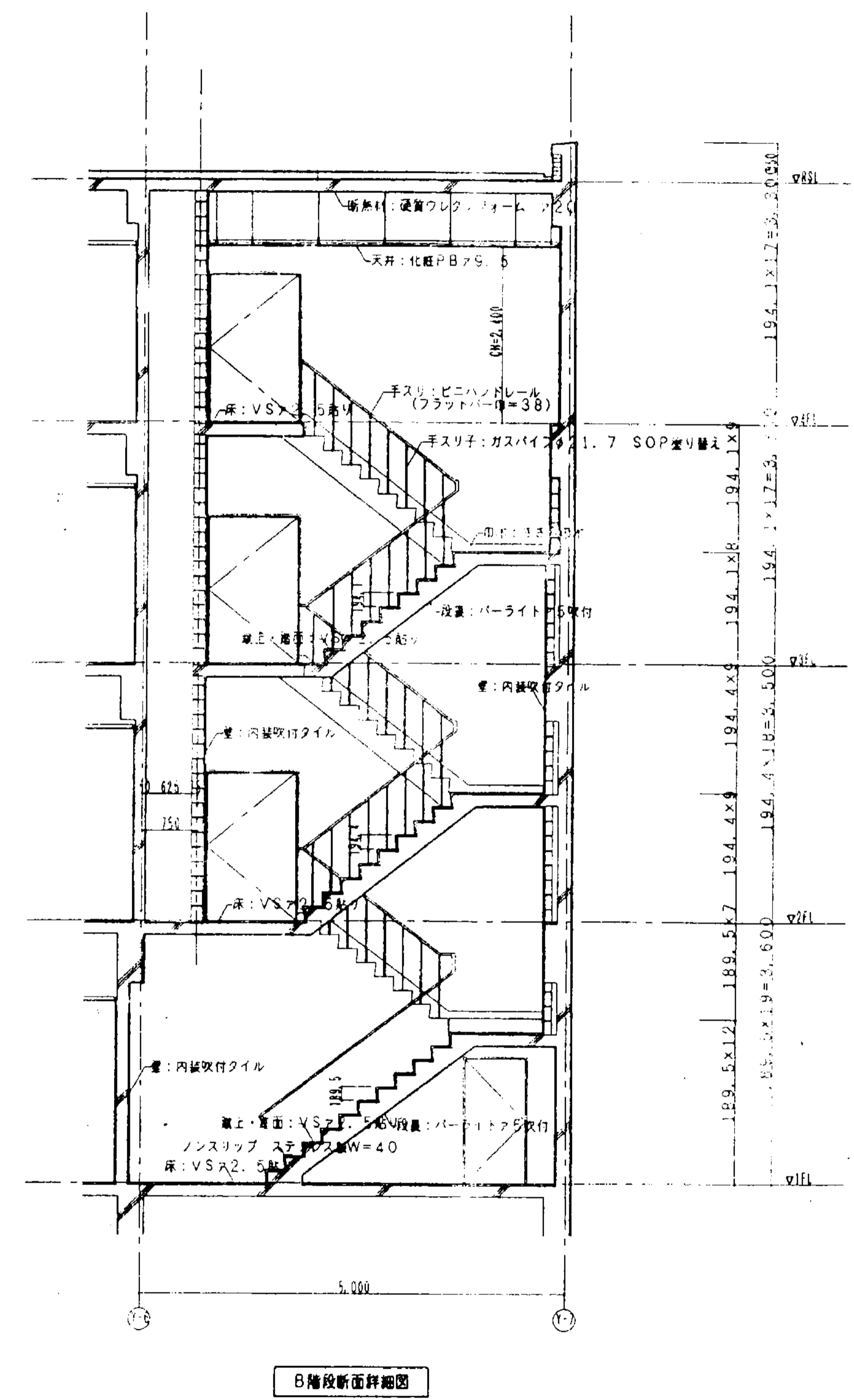
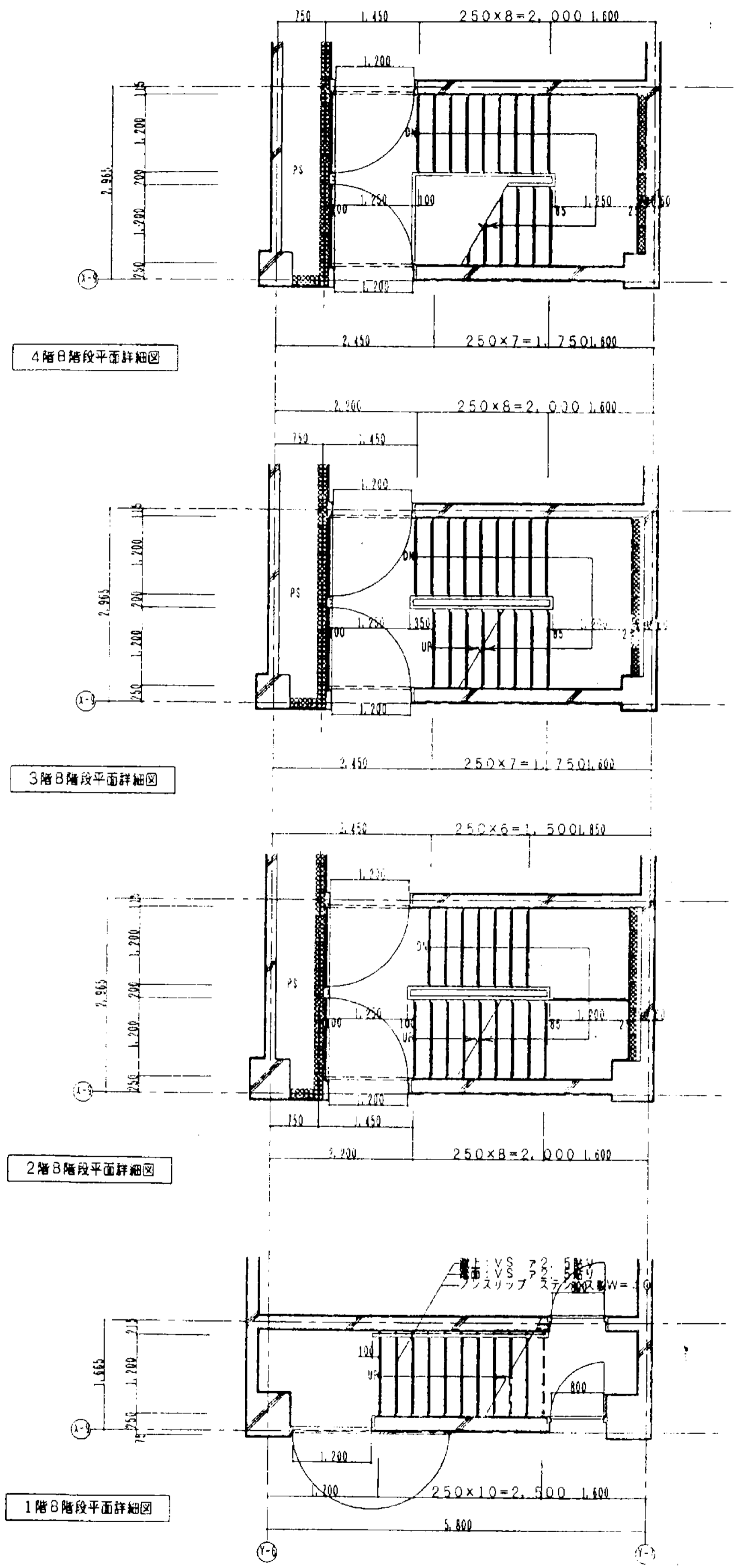
株式会社 内藤建築事務所

京都市左京区田中大塚町182  
一級建築士 神先 誠司 (建築士 第31113号)  
一級建築士事務所 京都府知事登録(31A)第22291号

(一級建築士 登録第24414号)  
構造設計一級建築士 第7089号  
矢口 正宏  
【建築関係法規に準じた部分が含まれます】  
(一級建築士 登録第361974号)  
設備設計一級建築士 第5999号  
山本 篤史  
【建築関係法規に準じた部分が含まれます】

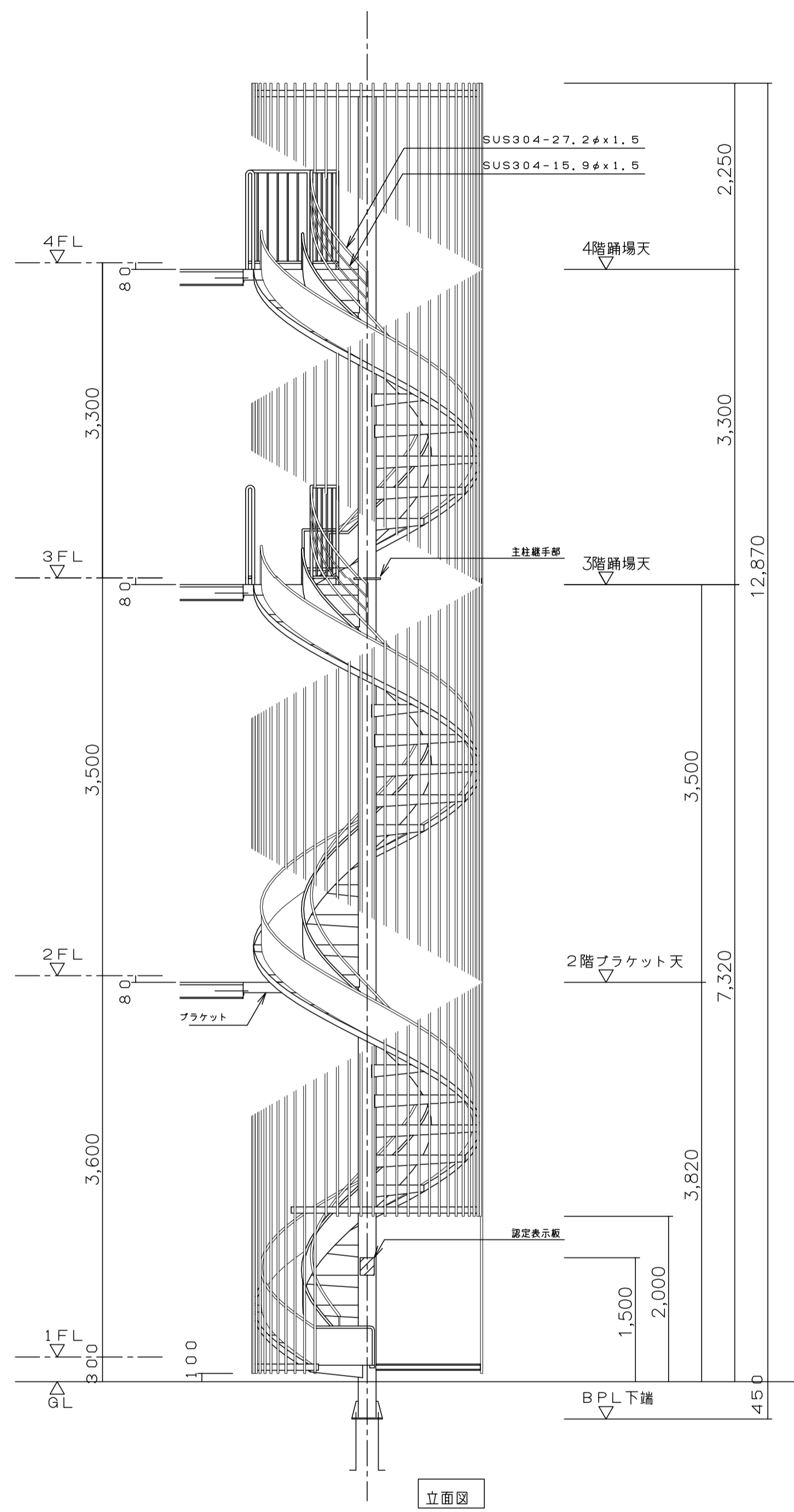
工事名 市民病院エレベータ核改修および別館解体工事  
図名 別館 屋内A階段詳細図  
縮尺 A1:1/50  
設計日

図番 KA-012



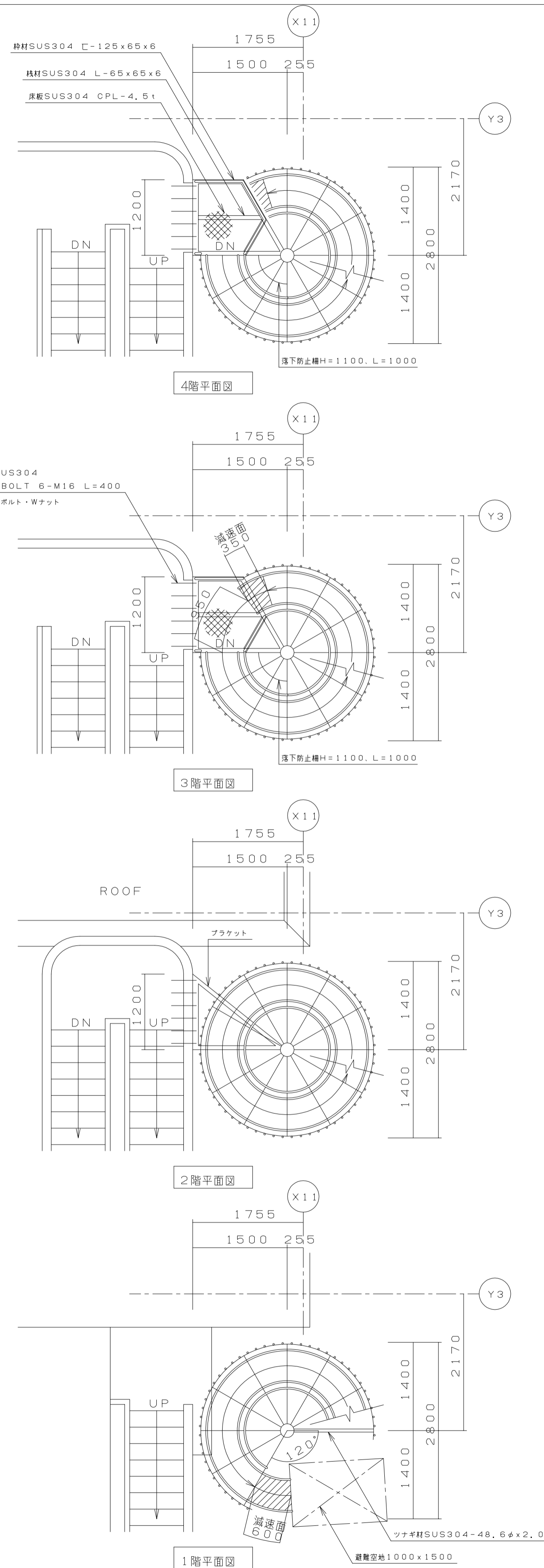
<p>株式会社 内藤建築事務所</p> <p>〒600-8111 京都市左京区田中大塚町182</p> <p>一般建築士 神先 誠司 (登録第911139号)</p> <p>一般建築士事務所 京都府知事登録(31A)第22291号</p>		<p>(一) 一般建築士 登録第244140号 構造設計一般建築士 第7020号 矢口 正宏</p> <p>【建築関係法規に關する部分の適合すべし】</p> <p>(一) 一般建築士 登録第361974号 設備設計一般建築士 第5999号 山本 篤史</p> <p>【建築関係法規に關する部分の適合すべし】</p>	<p>工事名 市民病院エレベータ棟改修および別館解体工事</p> <p>図名 別館 屋内B階段詳細図</p> <p>縮尺 A1:1/50 A3:1/100</p> <p>設計日</p>	<p>図番 KA-013</p>
---	--	---	--	------------------

立面図 A1: 1/50 A3: 1/100

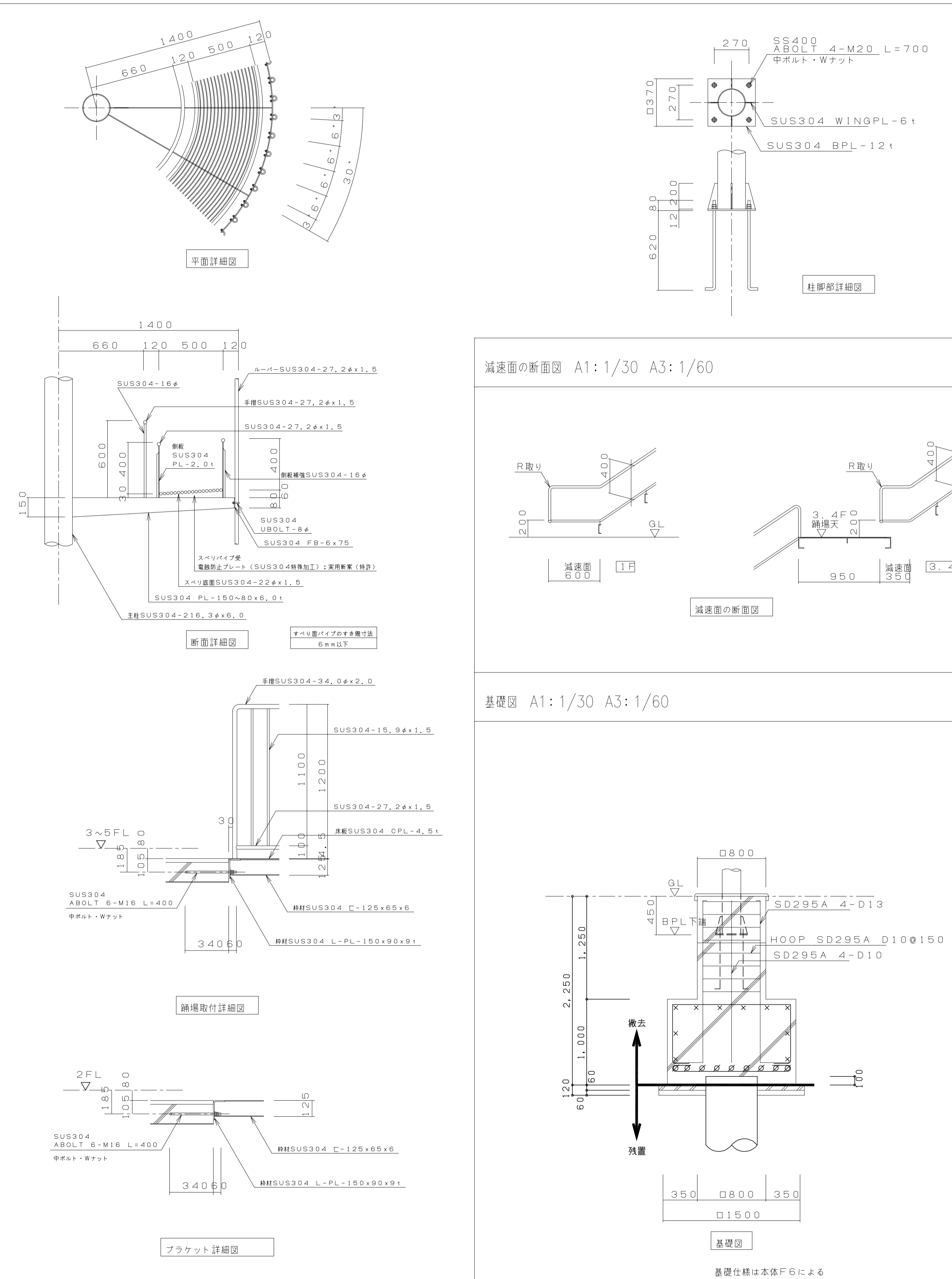


\* 使用材料は全てステンレス材 (SUS304) とする。  
 \* 使用コンクリート Fc = 18.0 以上。

平面図 A1: 1/50 A3: 1/100



詳細図 A1: 1/20 A3: 1/40



株式会社 内藤建築事務所

〒113 東京都左京区田中大塚町182  
 一般建築士 神先 誠司 (登録第31113号)  
 一般建築士事務所 京都府知事登録(31A)第22291号

【一般建築士 登録第244140号】  
 構造設計一般建築士 第7089号  
 矢口 正宏  
 【構造関係規定に關する部分の適合す】  
 【一般建築士 登録第361974号】  
 設備設計一般建築士 第5999号  
 山本 篤史  
 【設備関係規定に關する部分の適合す】

工事名	市民病院エレベータ棟改修および別館解体工事		図書
図名	別館 避難用すべり台詳細図	縮尺	設計日
		A1: 図示	
		A3: 図示	
			KA-O14

基礎仕様は本体F6による

符号	図	数量	取り付け場所	仕 様	建具寸法	枠寸法	建具	障子	カラー	調色	箔張り	金 物																									特 記					
												支 持 金 物					廻 動 金 物					シ リ ン ダ ー 錠					把 手 錠					錠 子 錠						そ の 他				
												材 質	材 質	厚 さ	材 質	材 質	材 質	材 質	材 質	材 質	材 質	材 質	材 質	材 質	材 質	材 質	材 質	材 質	材 質	材 質	材 質	材 質	材 質	材 質	材 質	材 質		材 質	材 質	材 質	材 質	
AW1		43	3-4	引き違い窓	70	1534	1310					AL	AL	FL																	1層目のラフトスペース 木製取付											
AW2		4	3-4	会議室G, 倉庫, 機械室	70	1134	1030					AL	AL	FL																												
AW3		9	3-4	EVホール, 廊下	70	1534	1310					AL	AL	FL																												
AW4		1	6-6	EV機械室	70	634	1137					AL	AL	FL																												
AW5		1	7-6	倉庫	70	1674	1317					AL	AL	FL																												
AW6		1	7-6	倉庫	70	1674	1317					AL	AL	FL																												
AW7		22	1-2	引き違い窓	70	1534	1437					AL	AL	FL																												
AW8		2	1	倉庫, 男子更衣室	70	1134	1037					AL	AL	FL																												
AW9		1	2	外装しランファ付引き違い窓	70	1534	1397					AL	AL	FL																												
AW10		1	1	倉庫	70	1534	1397					AL	AL	FL																												
AW11		1	1	デイルーム	70	834	1437					AL	AL	FL																												
AW12		6	1	2階住居部(廊下,ホール,倉庫,旧人工遊園センター)	70	1534	1437					AL	AL	FL																		1階2箇所 ガラスPWG6とする										
AW13		2	1	駐輪場	70	1100	1300					AL	AL	FL																												
AW14		1	1	引き違い窓	70	1534	1437					AL	AL	FL																												
AW15		1	1	引き違い窓	70	1534	1437					AL	AL	FL																												
AW16		3	2-3-4	廊下	70	634	1353					AL	AL	FL																												
AW17		1	3	ホール	70	634	1353					AL	AL	FL																												
AW18		1	4	廊下	70	634	1300					AL	AL	FL																												
AW19		1	1	2階外側(引き違い)カサ戸	70	3000	2000					AL	AL	FL																												
AW20		1	1	3階外側(引き違い)カサ戸	70	2742	2636					AL	AL	FL																												
AW21		1	1	倉庫	70	100	2200					AL	AL	FL																												
AW22		1	1	外装しランファ付カサ戸	70	1600	2353					AL	AL	FL																												
AW23		1	1	外装しランファ付引き違いカサ戸	70	1100	2480					AL	AL	FL																												
AW24		1	6-6	PS	70	634	1137					AL	AL	FL																												
AW25		1	1	交通センター乗降室	自動引き戸	3000	2400					AL	AL	TP	FL																			自動7層気密設置, 安全対策 遮断防止ゴム								
AW26		2	1	放課後デイサービス乗降室, 前室	自動引き戸	2500	2400					AL	AL	TP	FL																			自動7層気密設置, 安全対策 遮断防止ゴム								

株式会社 内藤建築事務所  
 東京都中央区田中本町1-8-2  
 一般社団法人 神先設計 (株) (第011139号)  
 一般社団法人 京都府知事登録 (31A) 第22231号

（一般社団法人）登録第244140号  
 （建設業法）登録第7088号  
 失口 正彦  
 【建設業法に定める部分の適合】  
 （一般社団法人）登録第361974号  
 （建設業法）登録第5999号  
 山本 篤史  
 【建設業法に定める部分の適合】

工事名 市民病院エレベーター棟改修および別館解体工事  
 図名 別館 建具表 (1) 縮尺 A1: -  
 設計日 A3: -

図章 KA-015